Windows 8.1
初期セットアップガイド

2017年 2月 1日 第3版

ＶＡＩＯ株式会社

目次

< はじめに > 3

（１）Windows 8.1 の初期設定 5

（２）ウイルス対策アプリの設定 12

（３）インターネットの設定（有線LAN、無線LAN（Wi-Fi））..... 13

（４）Windows Update の実施 18

（５）Microsoft Office のセットアップ 20

（６）メールの設定 25

（７）Microsoft アカウントの設定と切り替え 32

（８）リカバリーメディアの作成 36

（９）プリンターの設定について 38

（１０）Bluetooth（ブルートゥース）マウスの接続設定 39

（１１）ユーザーデータの移動 42

（１２）VAIO 電子マニュアルの確認方法 58

（１３）インターネット検索の活用のススメ 59

（１４）Windows 8.1 搭載の VAIO を快適にお使いいただくために 62

本ガイドに記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記しておりません。本ガイドに掲載される情報は、各国の著作権法、各種条約及びその他の法律で保護されています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む）をすることは、事前にVAIO 株式会社の文書による許諾がないかぎり、禁止します。

＜はじめに＞

この初期セットアップガイドは、インターネット環境を既にお持ちのお客様向けに、Windows 8.1搭載のVAIOを購入後に一般的によく実施されるセットアップ内容を 1 つにまとめ、できるだけ分かりやすくご案内するものです。このガイドでは以下の内容を順番にセットアップを進めていきます。

本文中の画像はお使いの機種によって異なる場合もありますので、ご了承ください。

（1）Windows 8.1の初期設定

VAIOを購入後、最初に電源を入れたときに自動的に開始される Windows 8.1 の初期設定についてご説明します。

（2）ウイルス対策アプリの設定

PC をインターネットに接続する際には、ウイルス対策アプリをあらかじめ準備しておくことがとても重要です。その設定についてご説明します。

（3）インターネットの設定（有線 LAN、無線 LAN（Wi-Fi））

VAIOをインターネットに接続する設定についてご説明します。プロバイダーとの契約内容によっては、プロバイダーに確認が必要になります。

（4）Windows Update の実施

Windows 8.1 発売後に発見された問題を修正したアップデートプログラムが、「Windows Update」としてマイクロソフトから提供されています。

（5）Microsoft Office のセットアップ（Office プリインストールモデルのみ）

Microsoft Office が付属されているモデルで、Outlook や Word、Excel などを使用するには、初回起動時に Office のセットアップが必要になりますので、その設定を行います。

（6）メールの設定

メールを設定するには､契約されているプロバイダーのメールアカウントに関する情報が必要になります。この情報を使ったメールの設定方法についてご説明します。

（7）Microsoft アカウントの設定と切り替え

Windows 8.1にはインターネット経由でマイクロソフトが提供するサービス（機能）が搭載されています。このサービスを利用するために、Microsoft アカウントの設定を行います。

（８）リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアは、PC が万が一に起動しなくなった場合に、万が一のときに非常手段として使用します。そのメディアの作成方法についてご説明します。

（９）プリンターの設定について

プリンターを使えるようするには、プリンターメーカーからの Windows 8.1設定の情報を入手する必要があります。その概要をご説明します。

（１０）Bluetooth（ブルートゥース）マウスの接続設定

Windows 8.1モデルのVAIOに、すでにお持ちのBluetooth マウスを使えるようにするには、接続の設定をする必要があります。その設定方法をご説明します。

（１１）ユーザーデータの移動

今まで使用していた PC で作成した文章やメール、音楽データを、新しい Windows 8.1 モデルのVAIOに移す方法についてご案内します。

（１２）VAIO電子マニュアルの確認方法

VAIOでは「VAIO 電子マニュアル」という電子化された取扱説明書が、PC から閲覧できるようになっています。その確認方法をご説明します。

（１３）インターネット検索の活用のススメ

PCを便利に使うには「インターネット検索」は欠かせません。ここでは、知りたい情報を上手く検索するコツをご説明します。

（１４）Windows 8.1搭載のVAIOを快適にお使いいただくために

Windows 8.1 の使い方やセキュリティー対策、データのバックアップ、トラブル発生時の対処方法など知っておくと安心な内容をご紹介します。

VAIOがお客様の生活を豊かにすることを願って

（１）Windows 8.1の初期設定

① VAIOの電源を入れる

VAIOに 電源コードとAC アダプターを接続して電源を入れます。電源を入れると次の②「地域と言語」の設定が開始されます。もし、しばらく時間が経っても画面に何も表示されない場合は、一度、電源ボタンを 4 秒以上(モデルによっては15秒以上)押し続けて電源を切ってから、もう一度電源を入れ直してください。

② 「地域と言語」の設定

各項目を以下のように設定します。
・国/地域 → 日本
・言語 → 日本語(日本)
・キーボードレイアウト
→ Microsoft IME

設定したら「次へ」ボタンを選択します。

③ 「ライセンス条項」の確認

条項の内容を確認して、「Windows とこの PC のライセンスに同意します」にチェックを入れます。そして、「同意する」ボタンを選択します。

④ セキュリティー対策アプリの設定

「セキュリティー対策を開始しましょう」の画面が表示された場合は、画面のチェックボックスにチェックが入っていることを確認した上で「 次へ」ボタンを選択します。

⑤ PC につける名前の設定

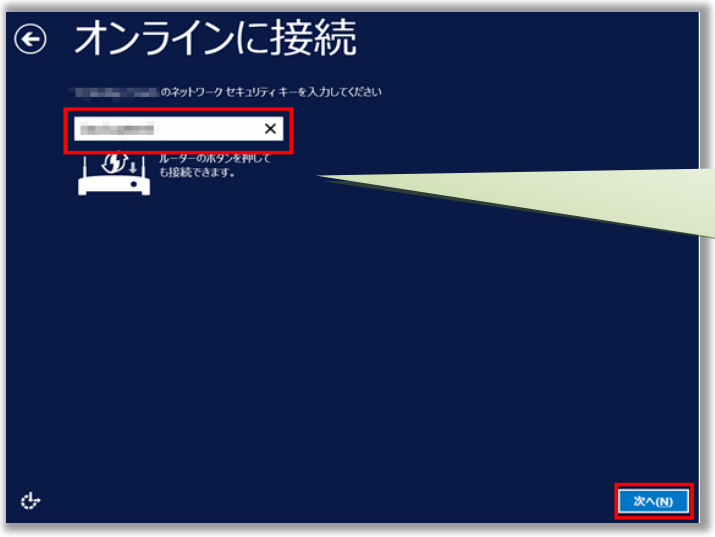
半角の英数字(a～z、A～Z、0～9)を使って 任意のPC 名を入力します。もし、 複数の PC をお持ちで、それらがネットワークで繋がっている場合は、 他の PC と違う名前を入力します。入力したら、「次へ」 ボタンを 選択します。

⑥ インターネット接続の設定

インターネットの接続環境をお持ちの場合は、接続するネットワークを選択します。

ない場合は、「この手順をスキップする」を選択して⑮へ進みます。

⑦ セキュリティーキー（暗号キー）を入力

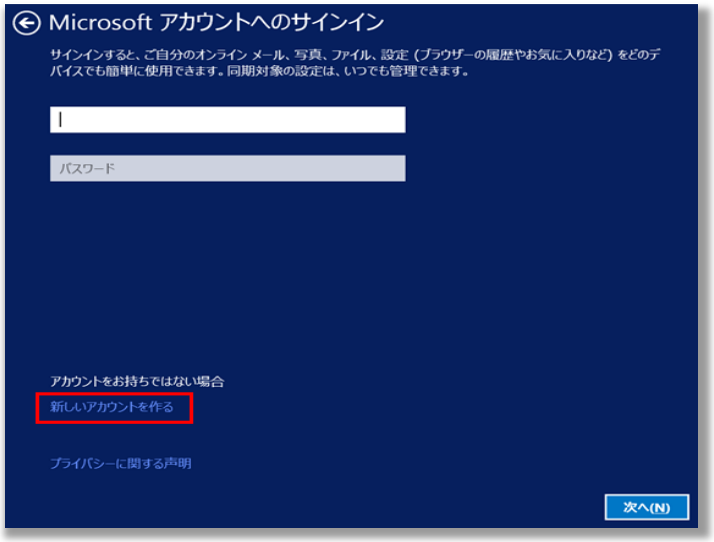


無線LANでインターネットに接続する場合は、セキュリティキー(暗号キー)の入力を求められます。セキュリティーキーはお使いの無線LAN機器本体のラベルなどに記載されています。

⑧　簡単設定の実施

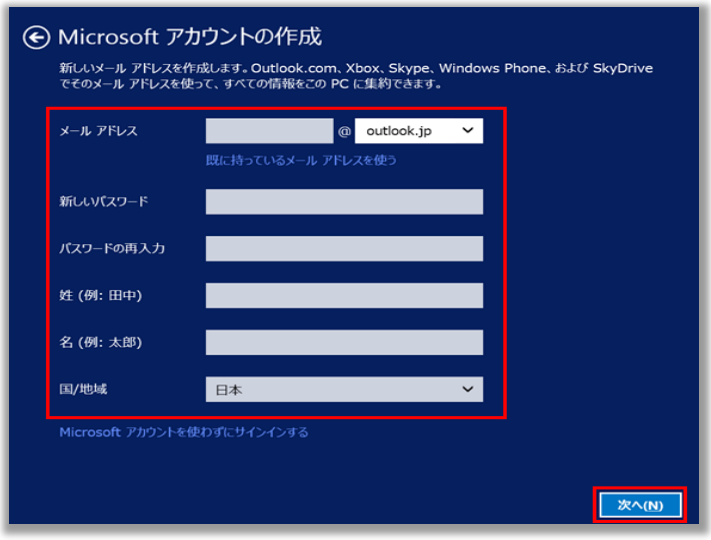
「簡単設定を使う」 ボタンを選択して先に進みます。　各種設定は初期設定完了後に変更することができます。

⑨　Microsoft アカウントへのサインイン



「Microsoft アカウントへのサインイン」画面で、「新しいアカウントを作る」を選択します。
すでに「Microsoft アカウント」をお持ちの場合は、Microsoft アカウントのメールアドレスとパスワードを入力してください。

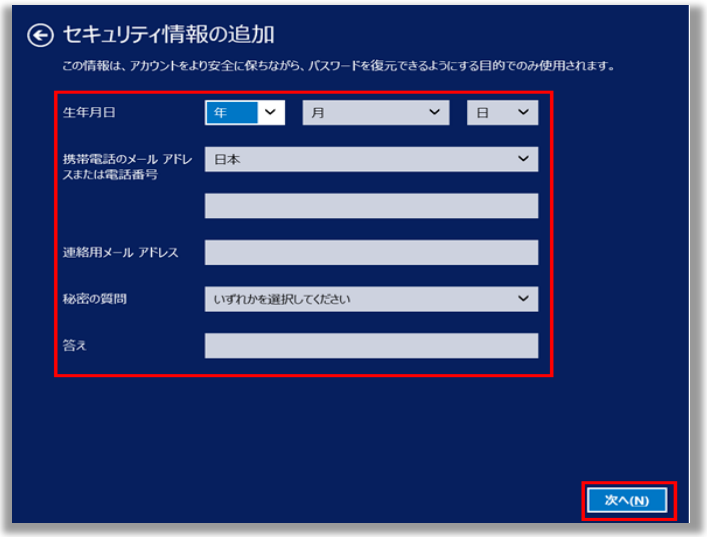
⑩　Microsoft アカウントの作成



「Microsoft アカウントの作成」を行います。
●メールアドレス/パスワード
　忘れないようにメモを取り、他人に見られないように保管しましょう。
●パスワード
　アルファベットの大文字/小文字、数字と記号を組み合わせて、8文字以上の文字列を作成しましょう。
「outlook.jp」「outlook.com」「hotmail.co.jp」のメールアドレスをお持ちの場合は「すでに持っているメールアドレスを使う」ことができます。

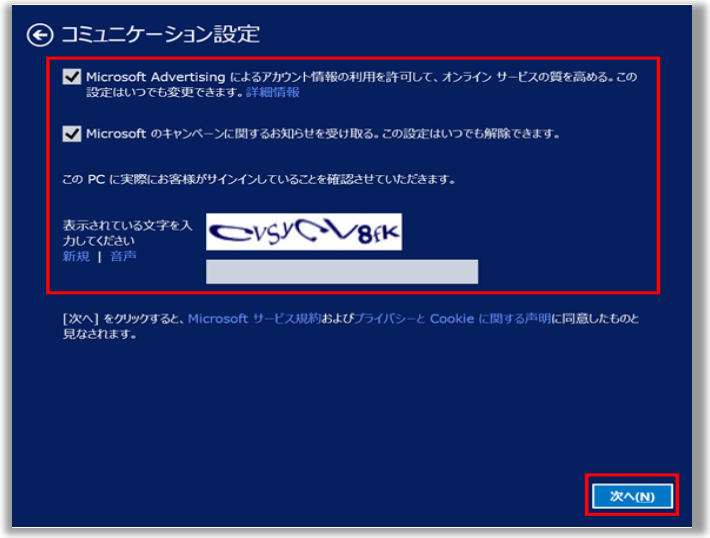
⚠【ご注意】設定したパスワードは忘れないようにご注意ください。もし忘れてしまうと、PC を初期化する作業が必要となり、ユーザーのデータが消えたり、初期設定を再度行わなければいけなくなります。

⑪　セキュリティー情報の設定



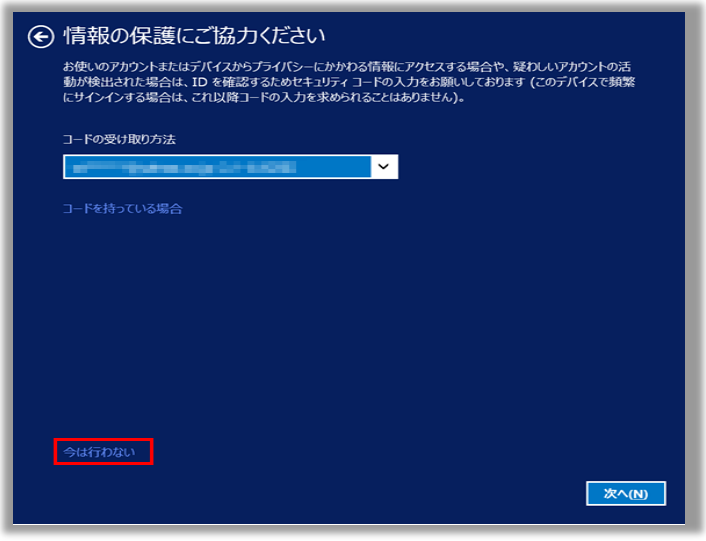
パスワードの再発行に使用する「セキュリティ情報の追加」を行います。
必ず自分につながる連絡先と、間違えないような秘密の質問を設定します。

⑫　コミュニケーション設定



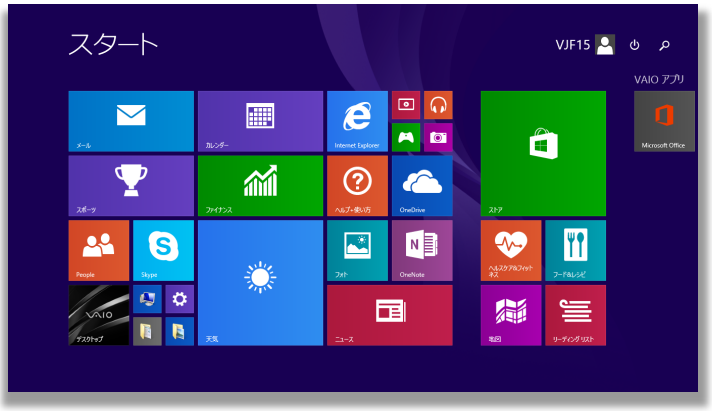
「コミュニケーション設定」画面が表示されるので、任意の項目にチェックし、表示されている文字を入力します。お客様本人がPCを使用していることを証明するために、わざとゆがんだ文字が表示されています。ゆっくり1文字ごとに確認しながら入力してください。文字が読み取れない場合は、「新規」を押して、新しい文字列を表示してみてください。

⑬　情報の保護にご協力ください



「情報の保護にご協力ください」画面では「今は行わない」を選択します。

⑭ Windows 8.1 の初期設定の完了

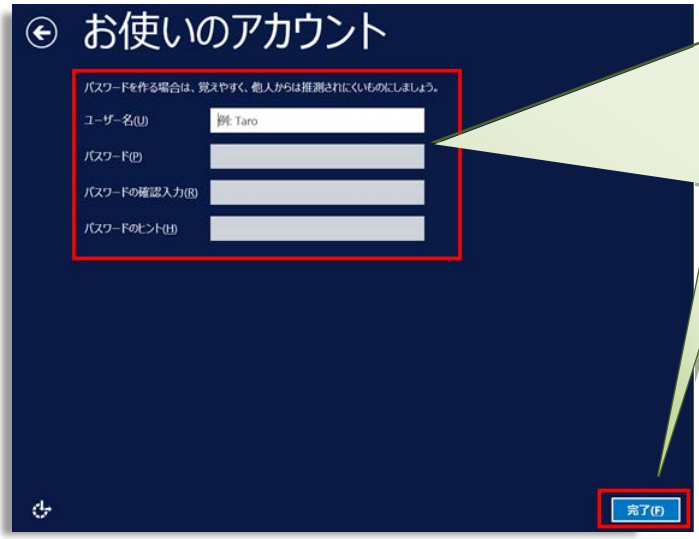


Windows　8.1の使い方のアニメーションが流れたあと、しばらく待つと、Windows 8.1のスタート画面が表示されます。
これでWindows　8.1 の初期設定は完了です。

⑮ インターネット接続がない場合 － 簡単設定の実施

セットアップ完了後に設定変更はできるので、ここでは「簡単設定を使う」ボタンを選択して先に進みます。

⑯ インターネット接続がない場合 － ユーザーの登録

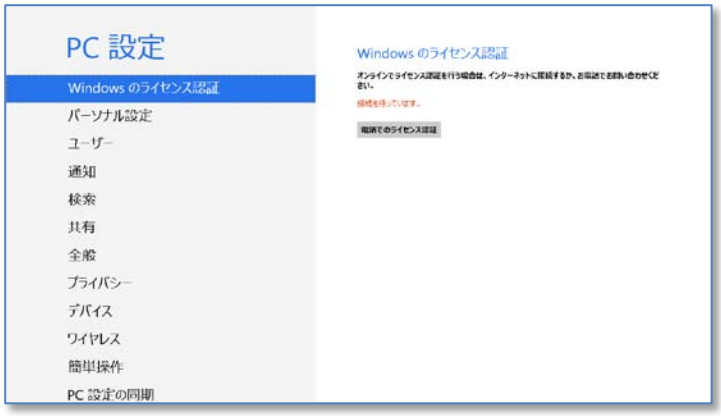


ここで設定できるアカウントは「ローカルアカウント」と呼ばれる、PCごとのアカウントです。
ユーザー名:半角英数字(a-z、A-Z、0-9)
パスワード:任意入力、半角英数字、入力文字は●で表示されるのでご注意ください。
パスワ ードのヒント:パスワードを思い出せるヒントを入力します。
ユーザー名やパスワードは忘れないようにメモを取り、他人に見られないように保管しましょう。
入力したら、「完了」ボタンを選択します。

⚠ 【ご注意】設定したパスワードは忘れないようにご注意ください。もし忘れてしまうと、PC を初期化する作業が必要となり、ユーザーのデータが消えたり、初期設定を再度行わなければいけなくなります。

⑰　インターネット接続がない場合 - Windows 8.1 の初期設定の完了

Windows　8.1の使い方のアニメーションが流れたあと、しばらく待つと、Windows 8.1のスタート画面が表示されます。これでWindows 8.1 の初期設定は完了です。



もし、「Windows のライセンス認証」が表示された場合は、後述のネットワークの設定で　VAIOをインターネット接続することで自動的に認証されますので、ここでは、キーボードの Windows キー(マークのキー)を押して「スタート」画面を表示します。

⑩ アプリの起動方法

[スタート]画面の左下に表示されている を選択し、[アプリ]画面を表示します。

[スタート]画面が表示されず([デスクトップ]画面が表示されている場合)は、キーボード下段にある(Windows)キーを押して、[スタート]画面に切り替えてください。

画面をスライドしながら目的のアプリを選択して、起動します。

（２）ウイルス対策アプリの設定

●ご自身で用意したウイルス対策アプリを使用する場合

１）VAIOの購入に合わせて、新規でウイルス対策アプリを購入した場合

購入したウイルス対策アプリ付属の取扱説明書に従ってインストールをおこなってください。ご不明点は、ウイルス対策アプリのメーカーにお問い合わせください。また、VAIOに付属している 60日間試用版の「McAfee LiveSafe」をインストールしないようにご注意ください。

２）以前に他のPC で使用していたウイルス対策アプリを購入した VAIOに使用する場合

ライセンスの数や手続きが対策アプリによって異なりますので、インストール手順についてウイルス対策アプリのメーカーにお問い合わせください。 下記の「McAfee LiveSafe 60日体験版」をインストールしないようにご注意ください。

●ウイルス対策アプリをお持ちでない場合

メールやインターネットの使用中に誤ってウイルスに感染しないように、ウイルス対策アプリを必ずインストールするようにします。コンピューターウイルス対策用アプリがプリインストール済みか、インストール済みでないかは、お使いの機種によって異なります。

１．Windows 8.1初期設定④(P.5)でセキュリティー対策を開始した場合 － 「McAfee LiveSafe」がインストールされています。（体験版の場合もあります）

２．デスクトップ画面上に「McAfee LiveSafe 60日体験版はこちらから」アイコンが表示されている場合 － **「McAfee LiveSafe 60日体験版はこちらから」**アイコンをダブルクリックし、表示されるMcAfee社のダウンロードサイトから、「McAfee LiveSafe 60日体験版」をインストールすることができます。本ガイドに従ってインストールしてください。試用期間中にウイルス対策アプリの購入をご検討ください。（お使いの機種によりお勧めのアプリが異なる場合があります）

【McAfee LiveSafe 60日体験版のインストール方法】

① デスクトップ画面の「McAfee LiveSafe 60日体験版はこちらから」よりMcAfeeのホームページへ

デスクトップ上の「McAfee LiveSafe 60日体験版はこちらから」のアイコンをダブルクリックします。

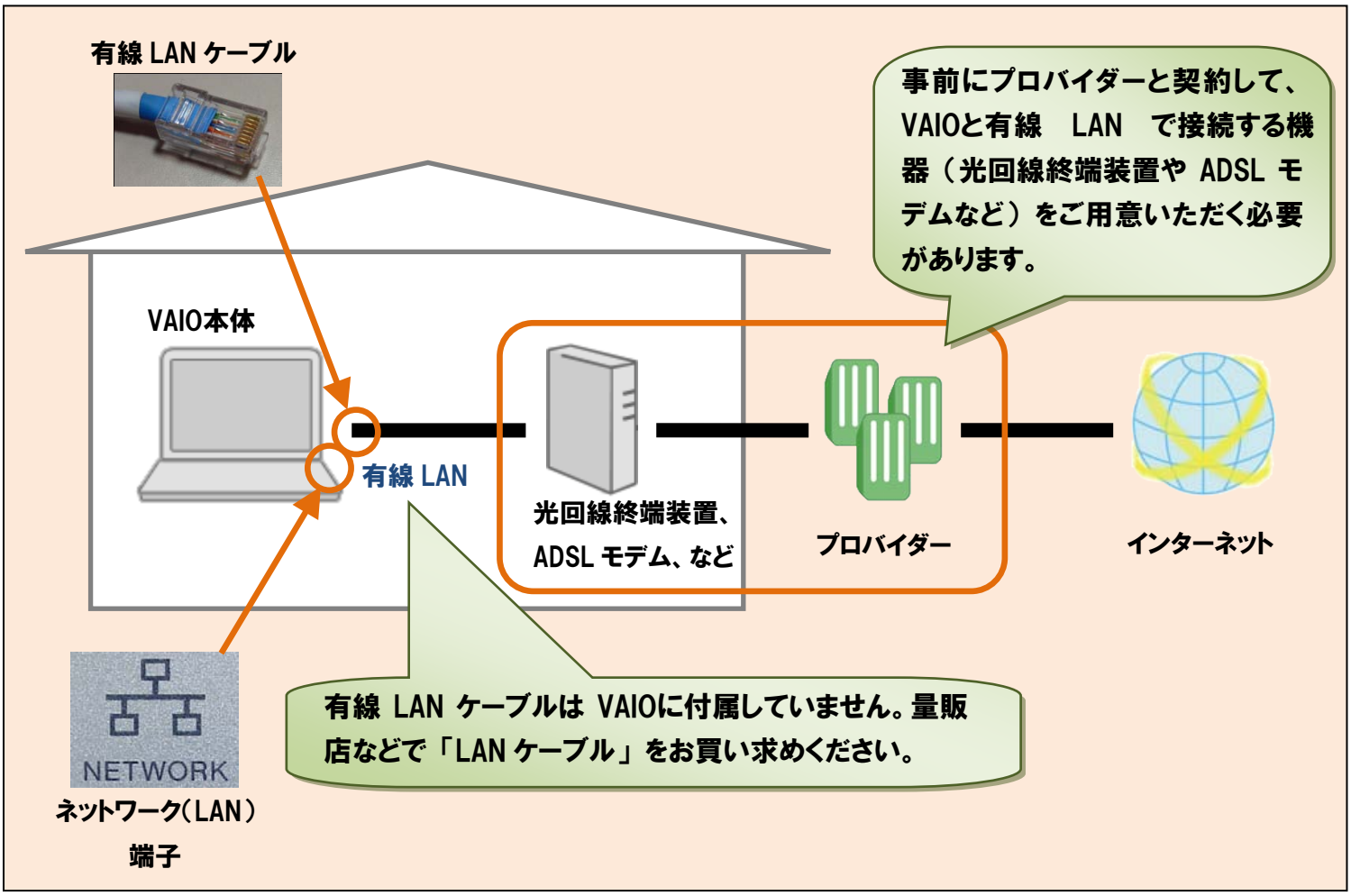
② McAfee LiveSafe 60日体験版のインストール開始

左図の 「インストール」をクリックして McAfee LiveSafeをインストールします。

（３）インターネットの設定（有線LAN、無線LAN（Wi-Fi））

●有線 LAN 接続の場合（ネットワーク端子搭載モデル）

VAIOを有線 LAN で接続してインターネットの設定を行うためには、事前にプロバイダーと契約して、ご自宅までインターネット回線が設置されている必要があります。



① 機器の接続

VAIO本体側のネットワーク(LAN)端子に有線 LAN ケーブルを接続します。また、有線 LAN ケーブルを「光回線終端装置」や「ADSL モデム」などに接続します。

② 電源の確認

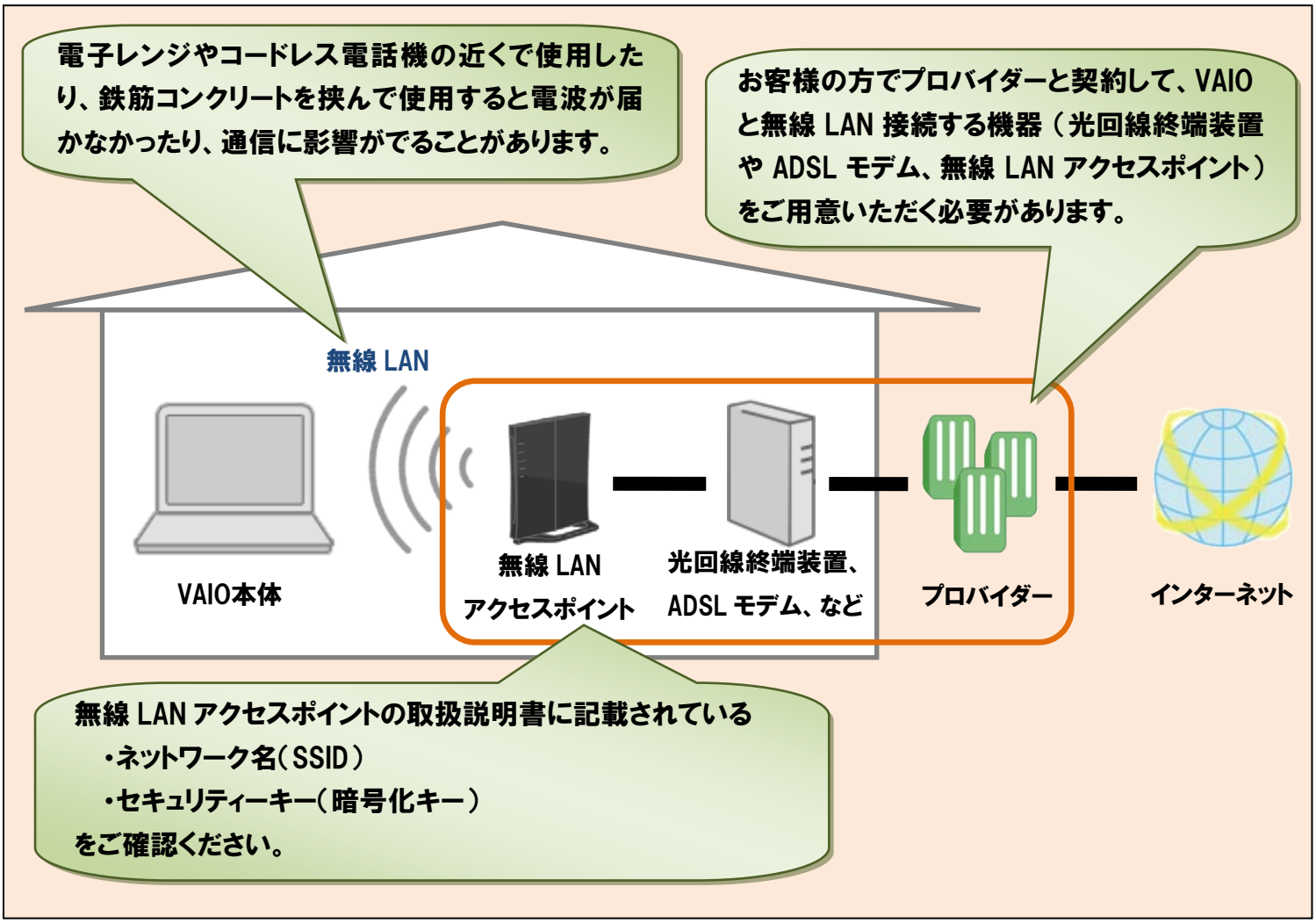
「光回線終端装置」や「ADSL モデム」の電源が入っていることを確認します。

③ プロバイダーからの情報の確認

VAIOの設定は、使用される光回線終端装置や ADSL モデム、契約されたプロバイダーによって異なります。プロバイダーから送付された説明書や、光回線終端装置や ADSL モデムの取扱説明書にしたがって進めてください。内容に不明な点がありましたら、プロバイダーにご確認ください。

●無線 LAN（Wi-Fi）接続の場合

VAIOに無線　LAN（Wi-Fi）で接続してインターネットの設定を行うためには、事前にプロバイダーと契約して、ご自宅までインターネット回線が設定されている必要があります。また、無線　LAN　アクセスポイント（親機）をご用意ください。



【ご注意】無線 LAN アクセスポイント付属の取扱説明書に、Windows 8または8.1 の無線 LAN 接続設定方法の記載がある場合は、その手順にしたがって設定を進めてください。（よりスムーズに設定が行える場合があります。）

① 機器の接続

プロバイダーから提供された取扱説明書や無線 LAN アクセスポイント付属の取扱説明書に従って、「光回線終端装置」や「ADSL モデム」と、「無線 LAN アクセスポイント」を接続します。

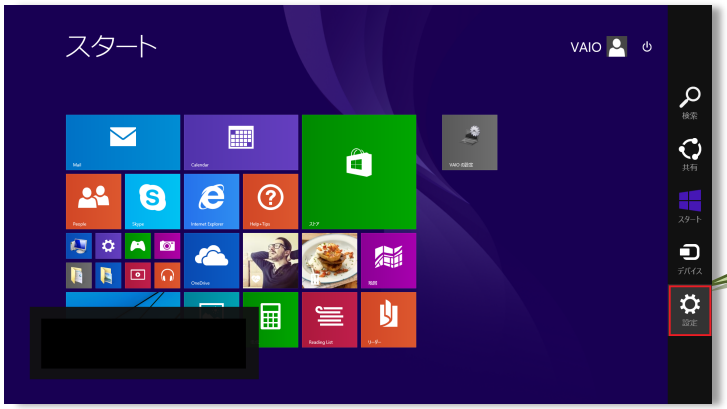
② 電源の確認

「光回線終端装置」や「ADSL モデム」、「無線 LAN アクセスポイント」の電源が入っていることを確認します。

③ ネットワーク名とセキュリティーキーの確認

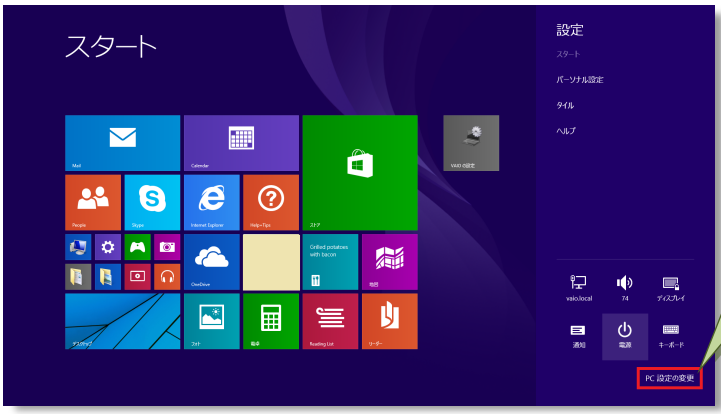
無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に記載されている「ネットワーク名(SSID)」と「セキュリティーキー(暗号化キー)」を確認します。

④ チャームの「設定」の起動



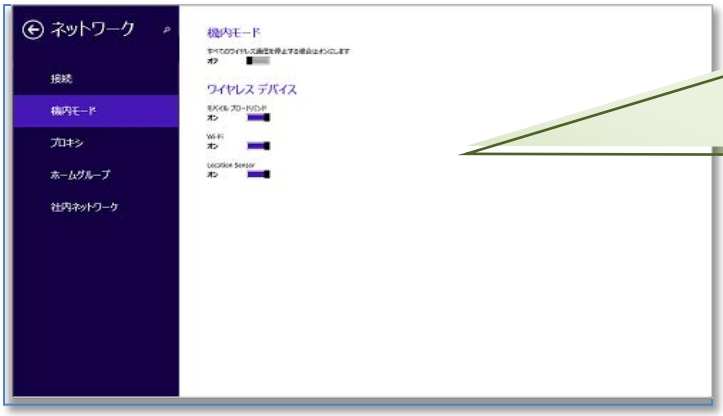
「スタート」画面の右上隅にマウスポインターを移動して、黒い縦の帯(チャーム)を表示させます。その中の マークの「設定」を選択します。

⑤ 「PC 設定の変更」の起動



「PC 設定の変更」を選択します。

⑥ 本体の無線 LAN 機能を有効にする



PC 設定の左側のメニューから「ワイヤレス」を選択します。そして、右側の「ワイヤレスデバイス」の「Wi-Fi」が「オフ(の表示)になっている場合は、表示を選択して「オン(の表示)にします。

⑦　チャームの「設定」の起動

キーボードの Windows キー(マークのキー)を押して「スタート」画面を表示します。そして、「スタート」画面の右上隅にマウスポインターを移動して、黒い縦の帯(チャーム)を表示させます。その中の マークの「設定」を選択します。

⑧　無線 LAN の設定の起動

マークを選択します。

⑨　無線 LAN アクセスポイントの選択と接続

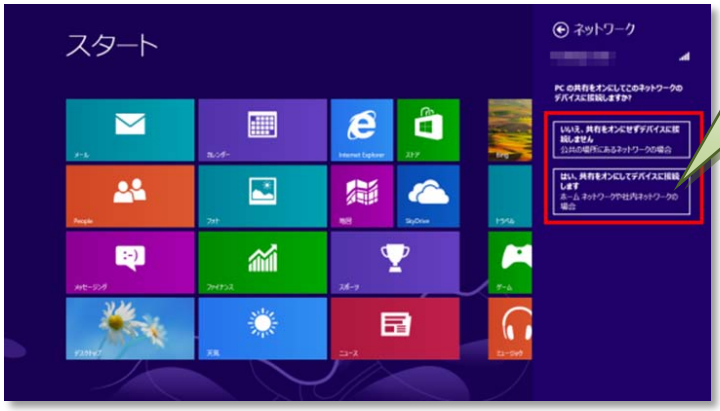
ネットワークの一覧から、③で確認したネットワーク名(SSID)を選択します。そして、「接続」を選択します。
(SSID が表示されない場合は、一度、無線 LAN アクセスポイントの電源を入れ直して、手順⑦～⑨を繰り返してください。)

⚠ 【ご注意】手順⑦～⑨をおこなっても、お使いのネットワーク名(SSID)が表示されなかった場合は、無線 LAN アクセスポイント側の設定でネットワーク名を公開しない設定になっている可能性があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーへお問い合わせください。

⑩　セキュリティーキー（暗号化キー）の入力

③で確認したセキュリティーキー（暗号化キー）を入力します。そして、「次へ」ボタンを選択します。
（暗号化キーにローマ字が含まれる場合は、大文字・小文字にご注意ください。入力を誤ると接続できません。）

⑪　PC の共有設定



ご自宅で無線 LAN を使用する場合は、「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」を選択します。

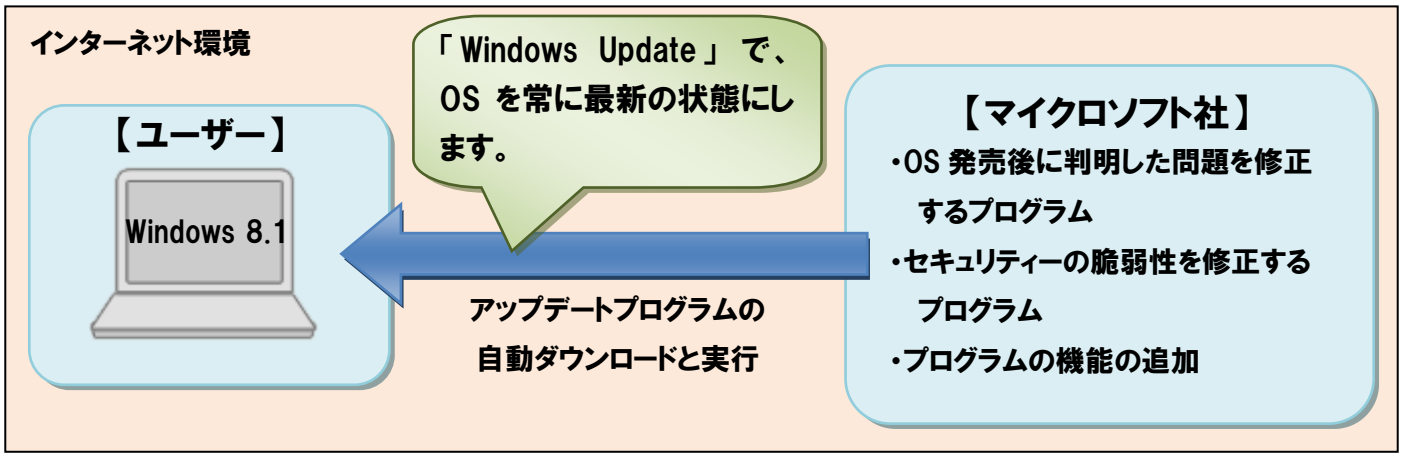
⑫　無線 LAN 接続の完了

無線 LAN に接続が完了すると「接続済み」の表示が出ます。

⚠【ご注意】無線 LAN アクセスポイントに接続が完了してもインターネットに接続できない場合は、光回線終端装置や ADSL モデムの設定が完了していないことが考えられます。プロバイダーから提供された取扱説明書をご確認の上、不明な点がありましたら、プロバイダーにご確認ください。

（４）Windows Update の実施

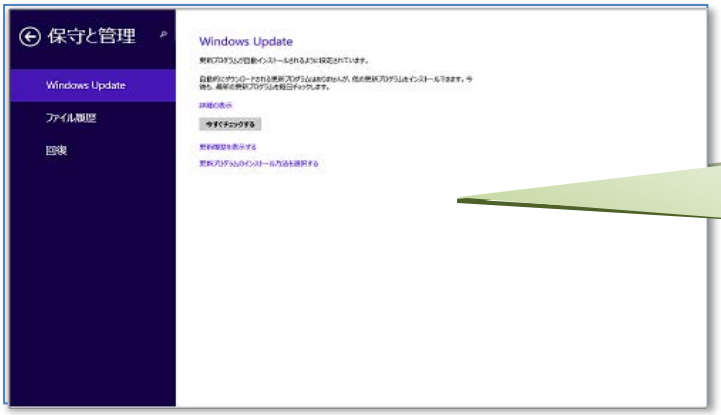
Windows 8.1 の機能の 1 つに「Windows Update」があります。この機能は、Windows 8.1 の販売後に判明した問題やセキュリティーの脆弱性を修正するために、マイクロソフト社から修正プログラムをダウンロードしてユーザーの PC に適用させるものです。特に、ウイルスに感染するリスクを下げるために行う、セキュリティーの脆弱性の修正は重要です。ここでは、Windows Update が自動的に実施され、OSが最新の状態になるように設定します。



① チャームの「設定」の起動

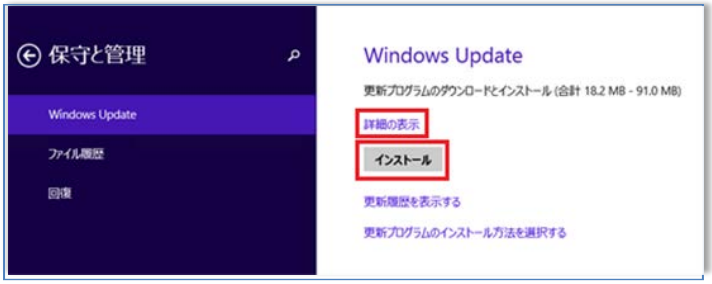
② 「PC 設定の変更」の起動

③ Windows Update の起動



左側メニューの「保守と管理」「Windows Update」を選択します。そして、画面右側にある「今すぐチェックする」ボタンを選択します。

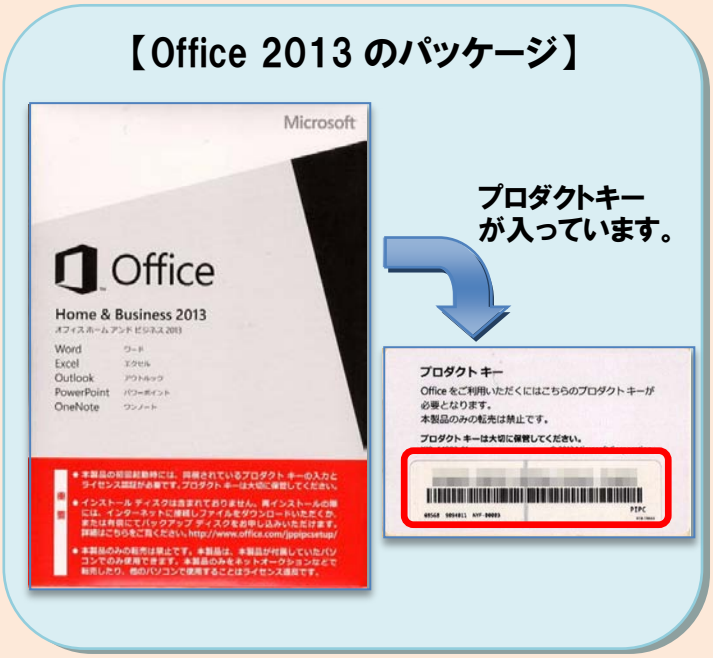
④ 更新プログラムのインストール



更新プログラムがあるかどうかチェックが開始されるので、結果を待ちます。
「インストール」ボタンが表示された場合は、インストールボタンをクリックしてWindows Updateを実行します。

（５）Microsoft Office のセットアップ
（Office プリインストールモデルのみ）

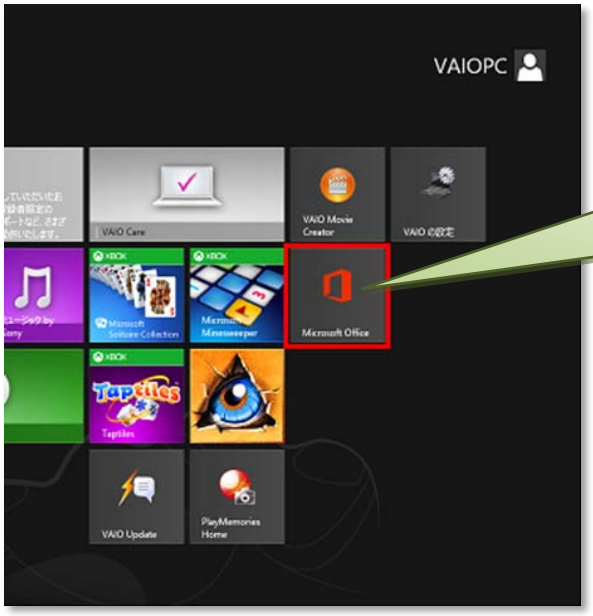
Microsoft Office が付属された仕様の VAIOを購入すると、下図のようなプロダクトキーが入ったパッケージが同梱されています。Microsoft Office を利用するには、インターネットに接続している環境で、このプロダクトキーを登録する必要があります。ここでは、その方法をご案内します。プロダクトキーは、紛失しても再発行はできませんので、登録後も大切に保管してください。



※上図は、Office2013「Home and Business」バージョンの時の写真です。

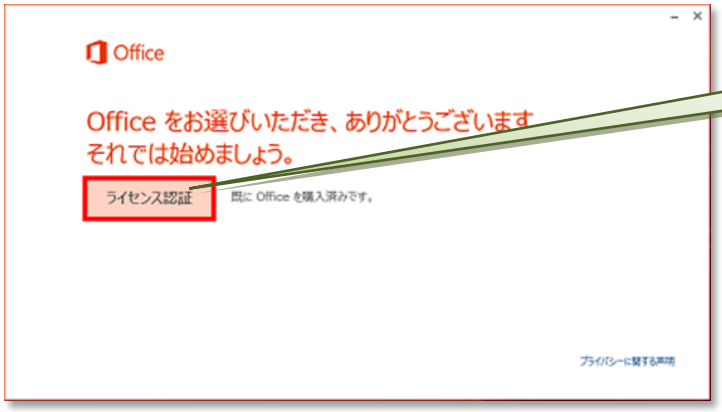
●Office 2013 のセットアップ

① Microsoft Office の起動



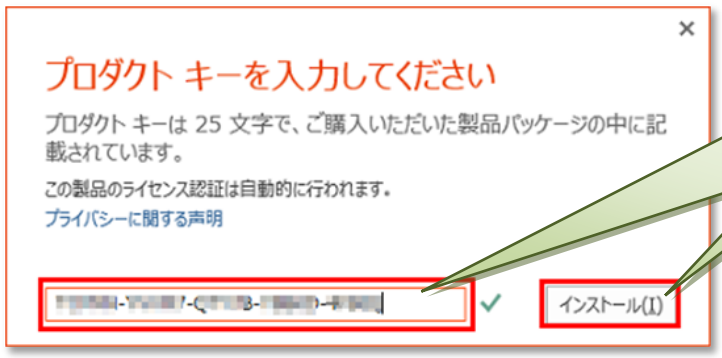
キーボードの Windows キー(⊞ マークのキー)を押して「スタート」画面を表示します。そして、「スタート」画面を右に向かってスクロールして「Microsoft Office」のタイルを選択します。

② ライセンス認証



「ライセンス認証」のボタンを選択します。

③ プロダクトキーの入力



Microsoft Office 2013 のパッケージに入っているプロダクトキーを入力します。そして、「インストール」のボタンを選択します。

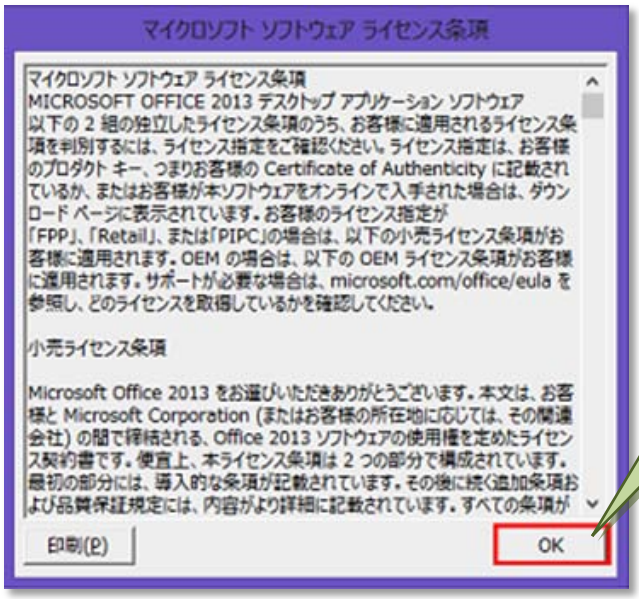
「%－準備しています…」画面が表示されるので、画面が変わるまで待ちます。

④ Office ようこそ画面

「次へ」ボタンを選択します。

⑤　ライセンス条項の確認

「Office の品質向上に役立つ情報を Microsoftに送る」を選択します。そして、「使用許諾契約書を読む」ボタンを選択します。



表示されるライセンス条項を確認して、「OK」ボタンを選択します。

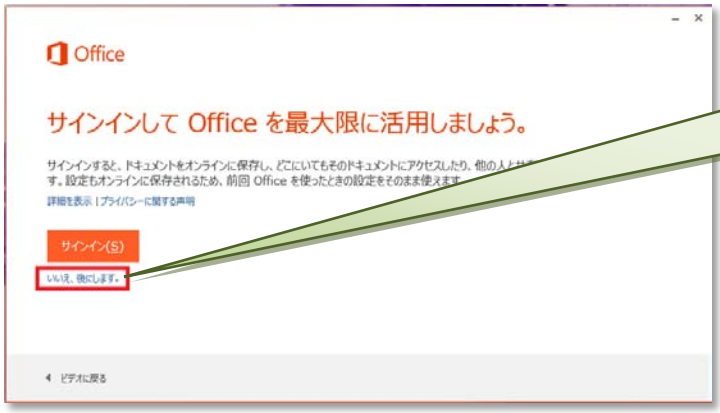
⑥　ライセンス条項の同意

「同意する」ボタンを選択します。

⑦　紹介ビデオ

紹介ビデオが流れる場合は終わるまで待ちます。

⑧　今はサインインしません



サインインには「Microsoft アカウント」が必要ですが、ここでは「いいえ、後にします」を選択します。

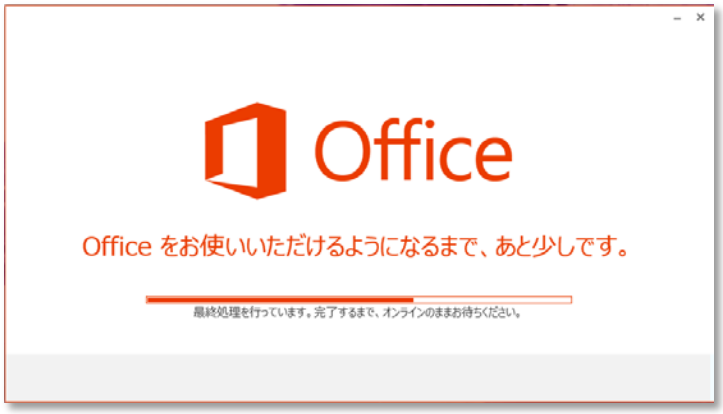
⑨　SkyDrive の説明

「次へ」ボタンを選択します。

⑩　新機能の説明

「いいえ」ボタンを選択します。

⑪　セットアップ処理中



セットアップの処理が終わるまで待ちます。

⑫　Office2013 セットアップの完了

「完了」ボタンを選択します。以上でセットアップは完了です。

●Office Premiumのセットアップ

Office Premiumをインストールするには、以下を用意してください。

１．インターネット接続

２．Microsoftアカウント

３．Office Premiumのパッケージに付属のプロダクトキー

インストール方法に関しては、下記のマイクロソフトのWebページを参照してください。

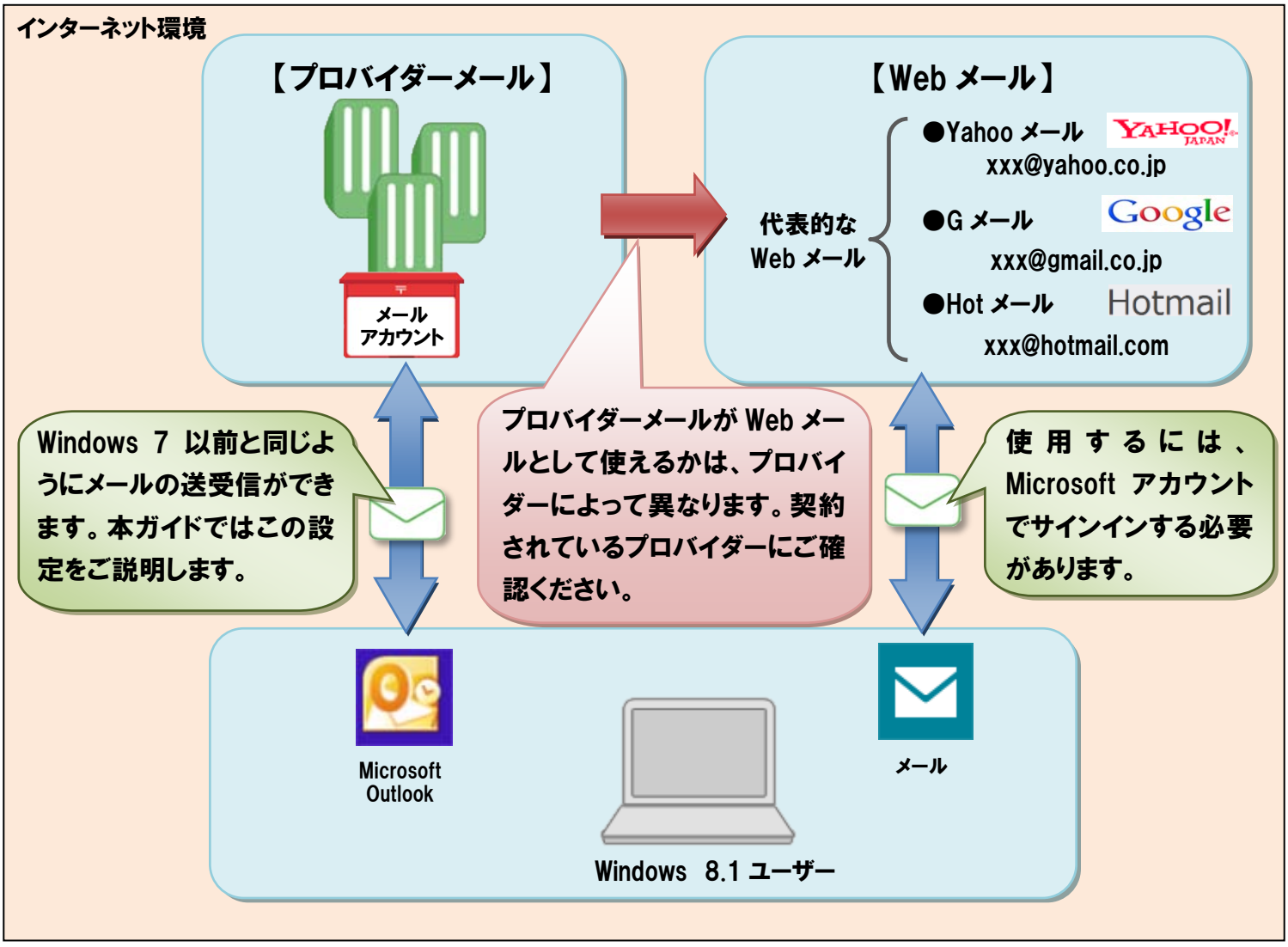
http://www.microsoft.com/ja-jp/office/setup/premium/setup.aspx

（６）メールの設定

Windows 8.1では、メールの送受信をおこなう一般的な方法として、Windows 7 以前の OSの時からある「Microsoft Outlook」を使う方法と、Windows 8.1 に最初からインストールされている「メール」アプリを使用する方法の2つがあります。

「メール」アプリは、Webメールを送受信するために使用します。「メール」アプリを使用したい場合は、プロバイダーが提供しているメールサービスがWebメールに対応しているか、契約されているプロバイダーにご確認ください。本ガイドでは、Windows 7 以前と同じようにメールの送受信ができる「Microsoft Outlook」のメール設定について説明します。

【ご注意】「Microsoft Outlook」は Microsoft Office に含まれるアプリです。「Microsoft Outlook」の設定を行う場合は、Microsoft Office が付属された VAIOを使用されているかを事前にご確認ください。



●Microsoft Outlook 2013 のメールアカウントの設定

Microsoft Office 2013/Office Premiumが付属されたVAIOが本説明の対象となります。事前にMicrosoft Office 2013/Office Premiumのプロダクトキーを入力し、Microsoft Officeのセットアップをお済ませください。プロダクトキーを入力すると「スタート」 画面に Microsoft Outlook 2013 のタイルが現れます。

① プロバイダーのメールアカウント情報の確認

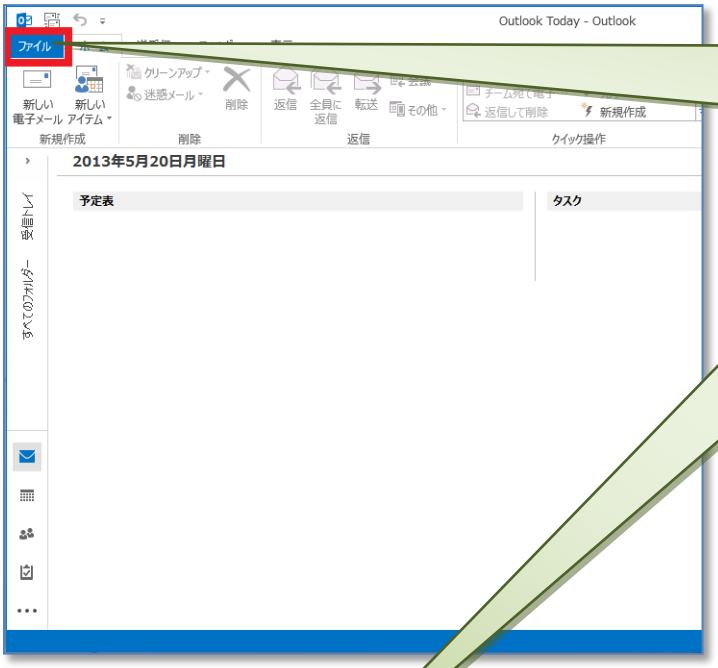
Microsoft Outlook の設定を行う際に、上記のプロバイダーのメールアカウント情報が必要になります。通常、プロバイダーから提供されている説明書に記載がありますので、ご確認ください。内容が不明な場合は、契約されているプロバイダーにご確認ください。また、プロバイダーにご確認の際には、以下の手順②以降の Microsoft Outlook のアカウント設定方法についてもあわせてご確認されることをおすすめします。

② Microsoft Outlook2013 の起動

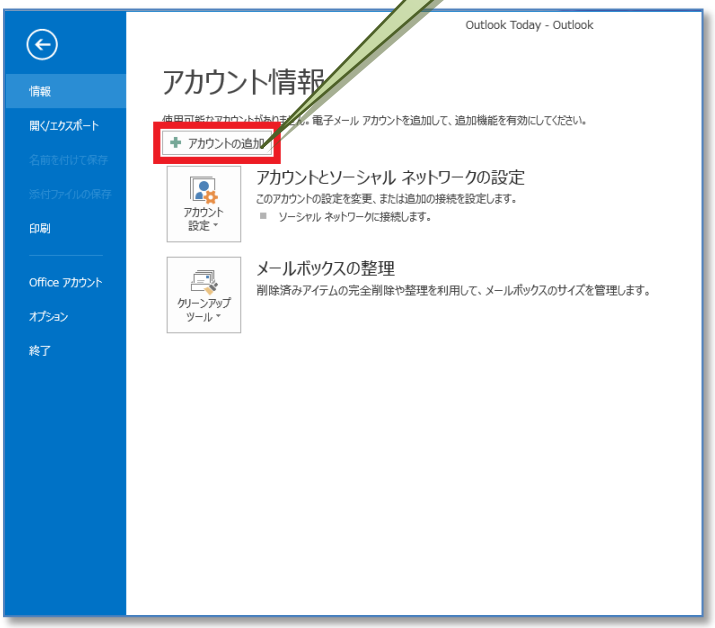
キーボードの Windows キー(マークのキー)を押して「スタート」画面を表示します。「スタート」画面を右に向かってスクロールさせて、「Outlook 2013」のタイルを選択します。見当たらない場合は、事前にプロダクトキーの入力を完了していない可能性があります。

③　ようこそ画面

「Outlook 2013 へようこそ」画面が表示されるので、「次へ」ボタンを選択します。



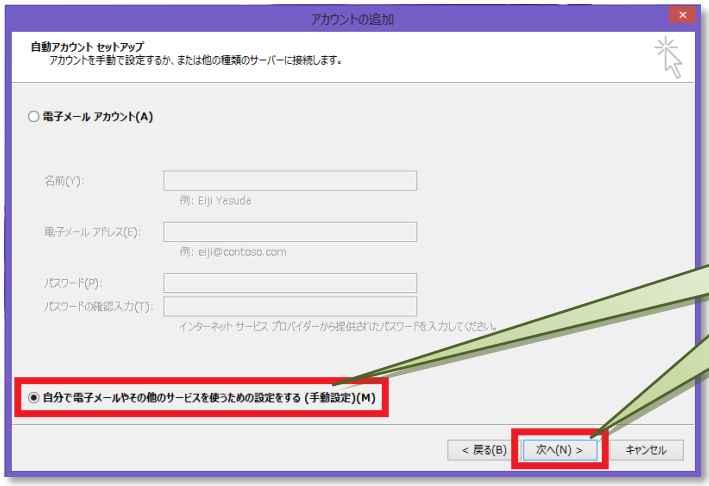
「Outlook 2013 へようこそ」画面が表示されない場合、「ファイル」を選択して、表示されるアカウント情報画面の中の「アカウントの追加」を選択します。



④　電子メールアカウントの設定（１）

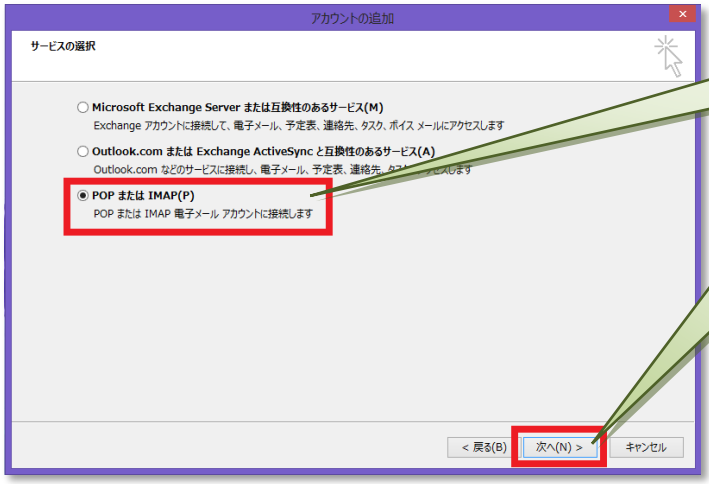
「はい」を選択して、「次へ」ボタンを選択します。

⑤　電子メールアカウントの設定（２）



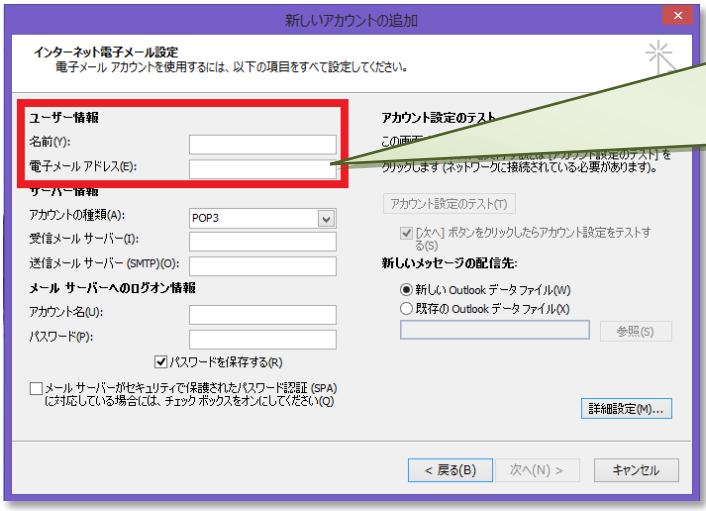
「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを選択します。

⑥　メールサービスの種類の選択



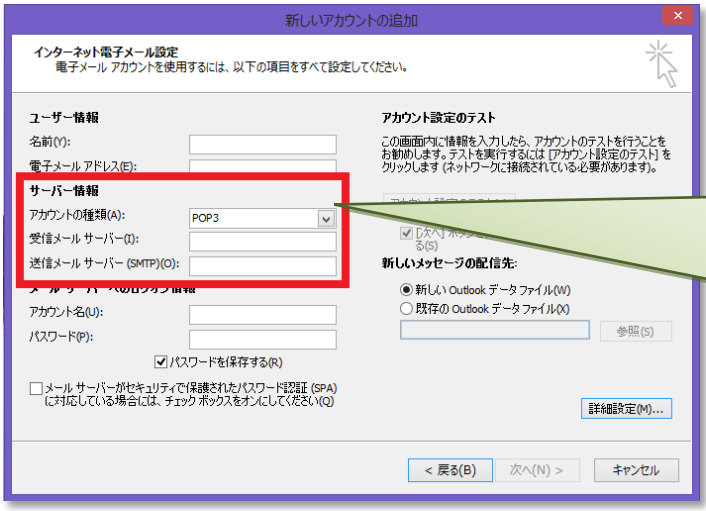
「POP または IMAP」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを選択します。

⑦　プロバイダーのメールアカウント情報の入力（１）

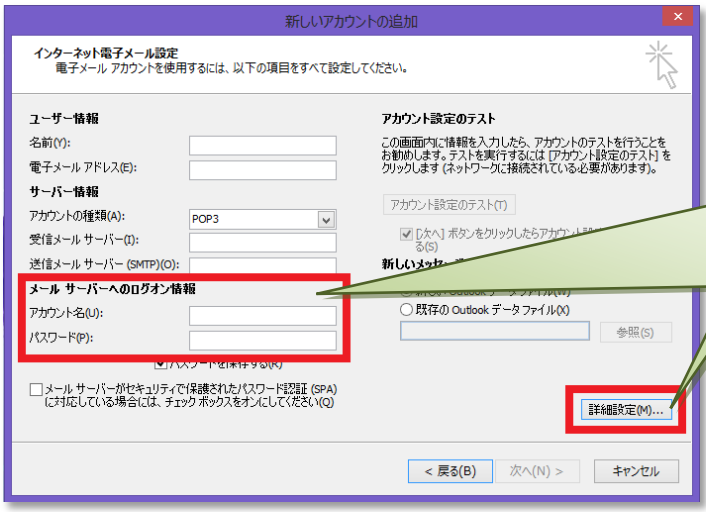


手順①で確認した以下のメールアカウント情報を順番に入力します。

- **名前**
  （メール送信した時に相手に差出人として表示させたい名前を入力します。）
- **電子メールのアドレス**



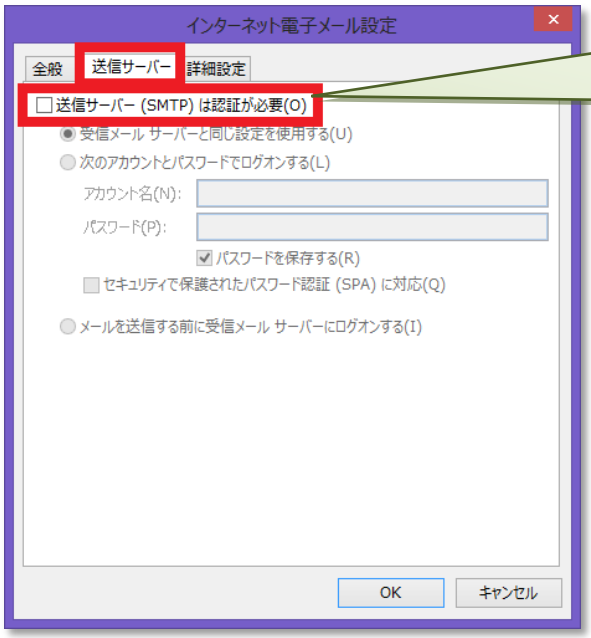
- **アカウントの種類**
  （POP3 のままにします）
- **受信メールサーバー**
  （サーバーのアドレスを入力します）
- **送信メールサーバー**
  （サーバーのアドレスを入力します）



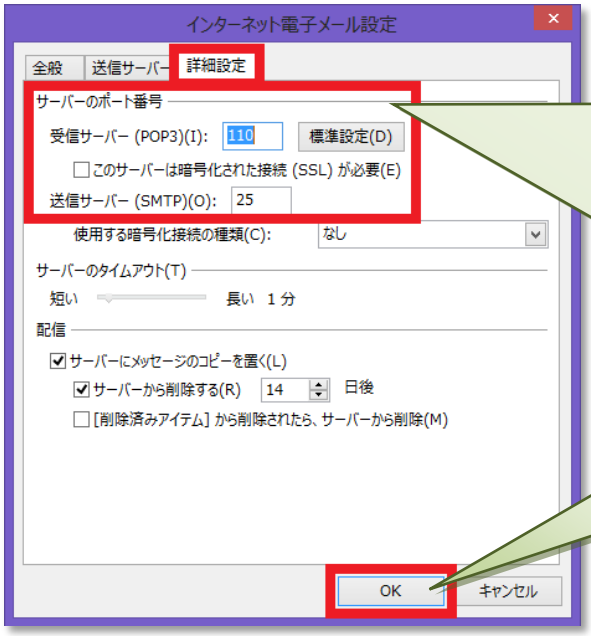
- **アカウント名**
  （ログオンユーザー名を入力します）
- **パスワード**

上記の入力が完了したら、「詳細設定」ボタンを選択します。

⑧　プロバイダーのメールアカウント情報の入力（２）



手順①の確認で、「10．送信サーバーの認証」が必要である場合は、「送信サーバー」のタブを選択して、その中の「送信サーバーは認証が必要」にチェックを入れます。

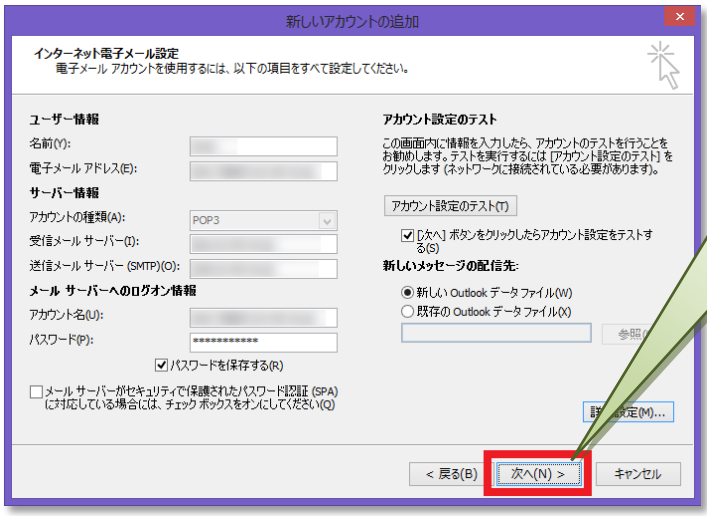


手順①で確認した以下のメールアカウント情報を入力します。

・受信サーバー
　（受信サーバーのポート番号を入力）
・このサーバーは暗号化された接続が必要
　（受信サーバーのセキュリティーで保護された接続が必要な場合はチェックを入れます）
・送信サーバー
　（送信サーバーのポート番号を入力）

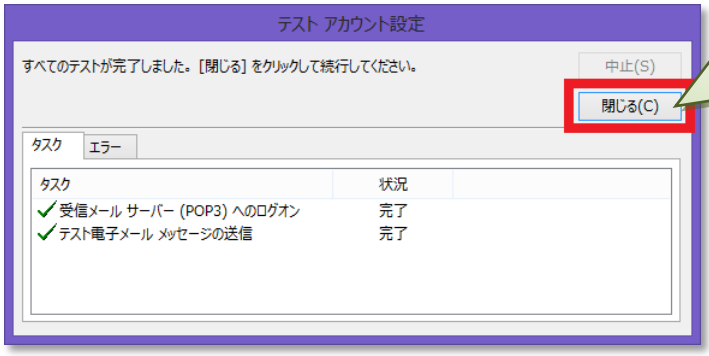
上記を入力したら、「OK」ボタンを選択します。

⑨　プロバイダーのメールアカウント情報の入力（３）

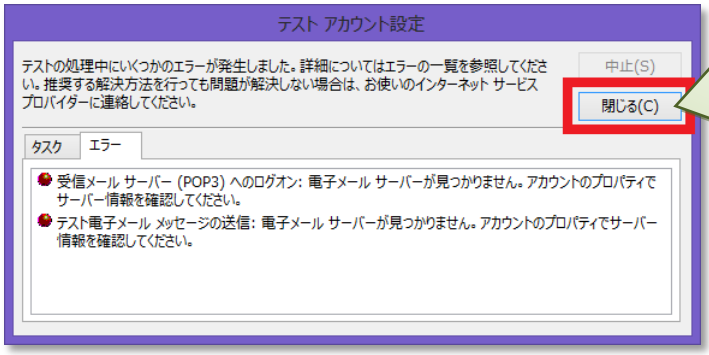


「次へ」ボタンを選択します。

⑩　テストメールの自動送信

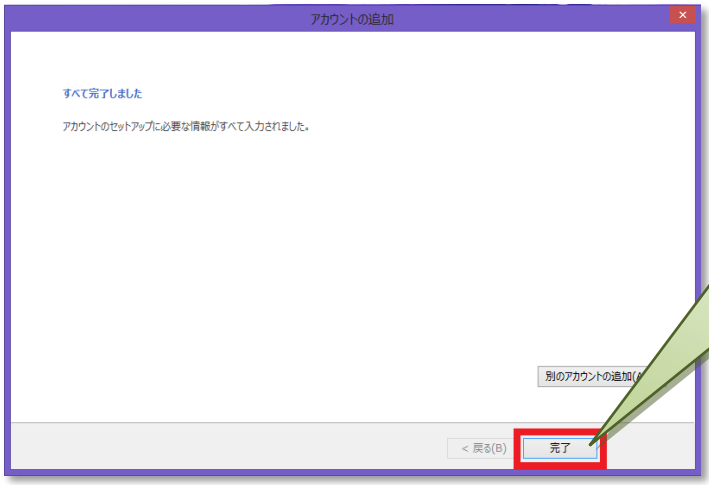


設定したメールアカウントに対してメールが送信できるかどうか、自動的にチェックされます。正常に送信できると、状況が「完了」となります。「閉じる」ボタンを選択します。



正常に送信できなかった場合は、エラーが表示されます。「閉じる」ボタンを選択して、アカウント情報が正しく入力されているかご確認ください。不明な場合は、契約されているプロバイダーにご確認ください。

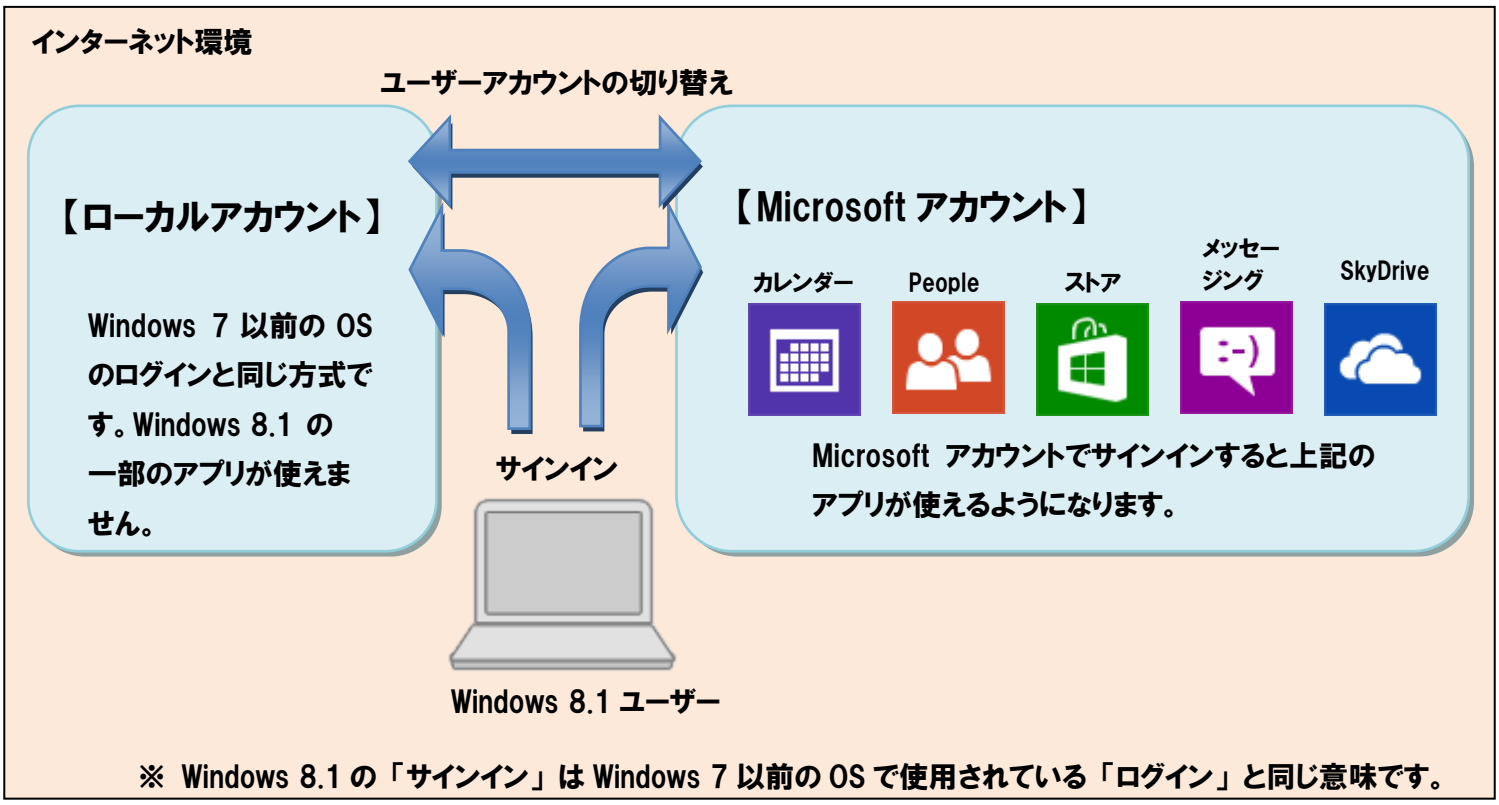
⑪　設定の完了



「完了」ボタンを選択して、設定は終了です。

（７）Microsoft アカウントの設定と切り替え

Windows 8 から「Microsoft アカウント」と呼ばれる新しい機能が追加されました。このアカウントは、下図のように「メール」や「ストア」などインターネットを経由してマイクロソフトが提供しているサービスを使用する際に必要となるものです。現在、（１）Windows 8.1 の初期設定で作成したアカウントは「ローカルアカウント」と呼ばれる Windows7 以前の OSと同じ方式のアカウントでサインインしていますので、ここでは「Microsoft アカウント」を作成し、ユーザーアカウントの切り替えを行う方法をご説明します。



【ご注意】「Microsoft アカウント」の設定には VAIOがインターネットに接続されている必要があります。Internet Explorer で Web を閲覧できるかどうか事前にご確認ください。

① チャームの「設定」の起動

「スタート」画面の右上隅にマウスポインターを移動して、黒い縦の帯(チャーム)を表示させます。その中の マークの「設定」を選択します。

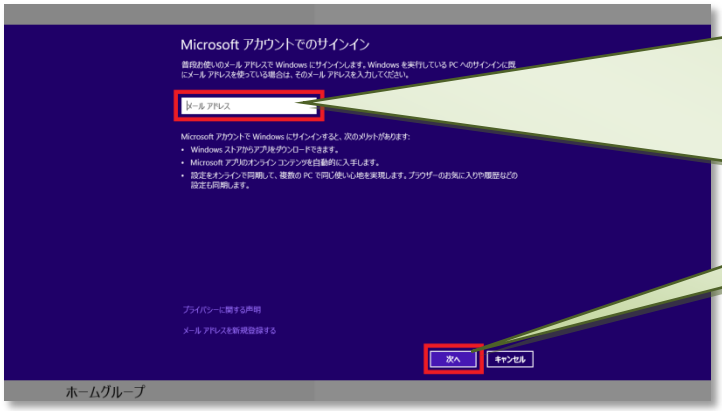
② 「PC 設定の変更」の起動

設定の中の「PC 設定の変更」を選択します。

③ ユーザーの追加

PC 設定画面で、左側のメニューから「ユーザー」を選択します。そして、右側のその他のユーザーの中の「Microsoft アカウントへの切り替え」を選択します。

④ メールアドレスの入力

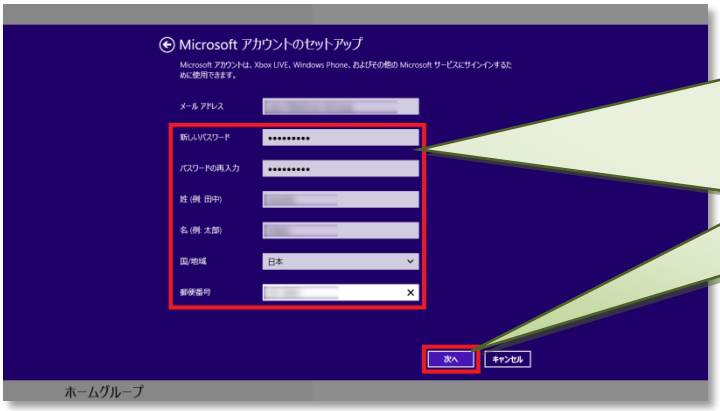


現在使用しているメールアドレスを入力して「次へ」ボタンを選択します。

■■■ ご注意！ ■■■

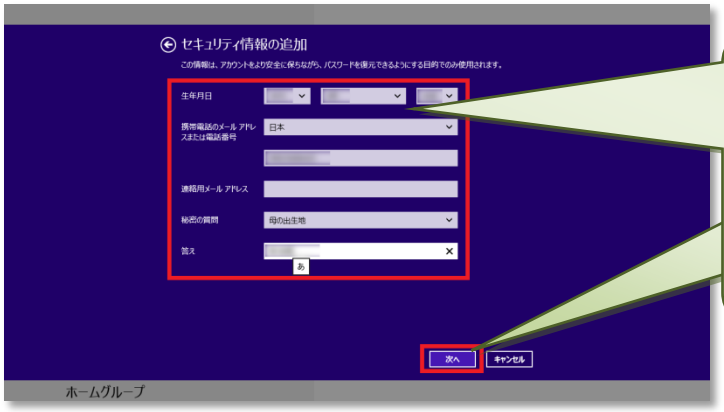
メールアドレスの入力を間違えると、マイクロソフトからのメールを受け取れないため、設定を終了できません。Microsoft アカウント設定を最初からやり直すことになりますので、メールアドレスをよく確認して入力してください。

⑤ Microsoft アカウント情報の入力（１）



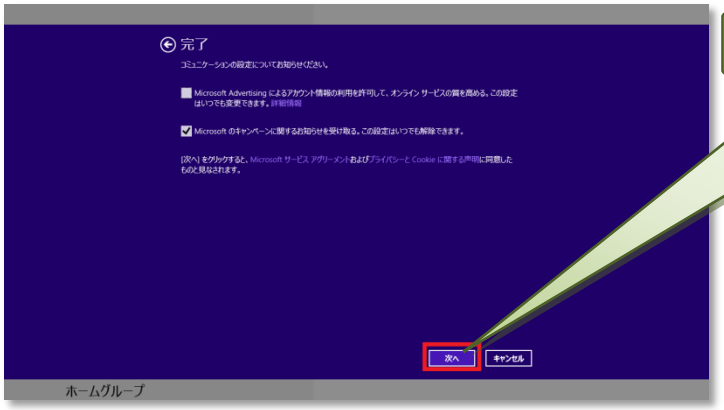
「パスワード、姓、名、国、住所の郵便番号」を順番に入力します。パスワードは Microsoft アカウントでサインインする際に使用するパスワードです。半角の英数字(a～z、A～Z、0～9)を使って 8 文字以上入力します。パスワードの入力文字は●で表示されるので、入力文字にご注意ください。

⑥ Microsoft アカウント情報の入力（２）



生年月日と以下3つの項目のうち2つ以上入力して、「次へ」ボタンを選択します。
1）「携帯電話のメールアドレスまたは電話番号」
2）「連絡用メールアドレス」
3）「秘密の質問」と「答え」

⑦ 完了画面（コミュニケーション設定）

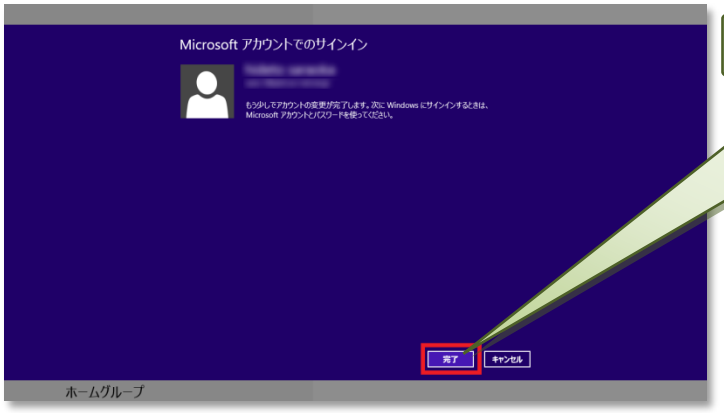


「次へ」ボタンを選択します。

⑧ 本人確認

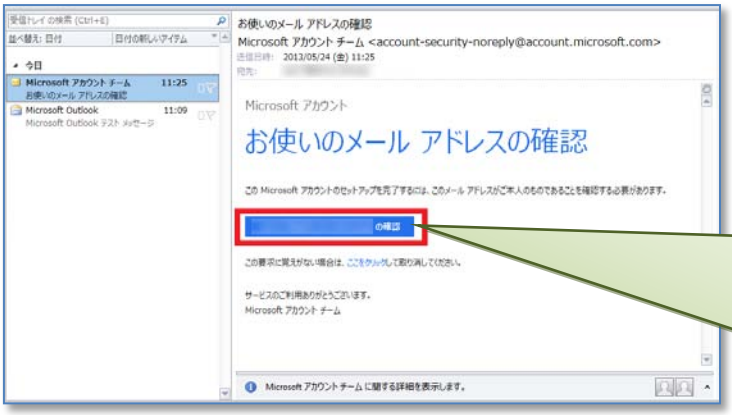
読みにくい文字を入力します。もし読めない場合は、「新規 | 音声」の文字の「新規」を選択して、読みやすい文字に変更します。入力したら「次へ」ボタンを選択します。
（手順⑦でこの表示が一緒に出る場合があります）

⑨ Microsoft アカウントでサインイン



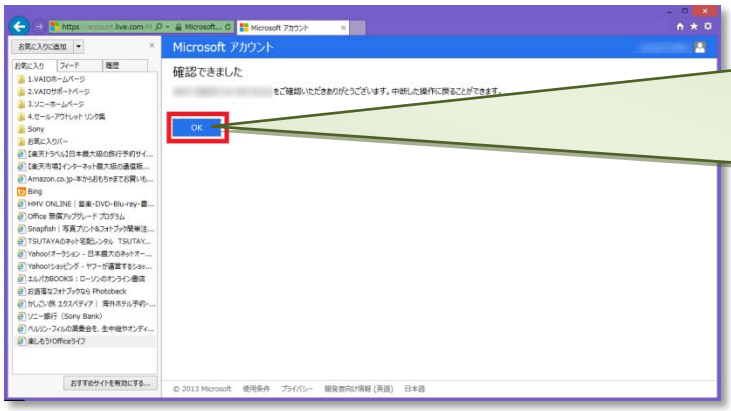
「次へ」ボタンを選択します。

⑩　登録したメールアドレスの本人確認



Microsoft アカウントに登録したメールアドレスがお客様のものかどうか確認するために、マイクロソフトから「お使いのメールアドレスの確認」というタイトルの確認メールが届きます。そのメールを開くと、「(登録したメールアドレス)の確認」ボタンが表示されるので、選択します。

⑪　メールアドレスの本人確認完了

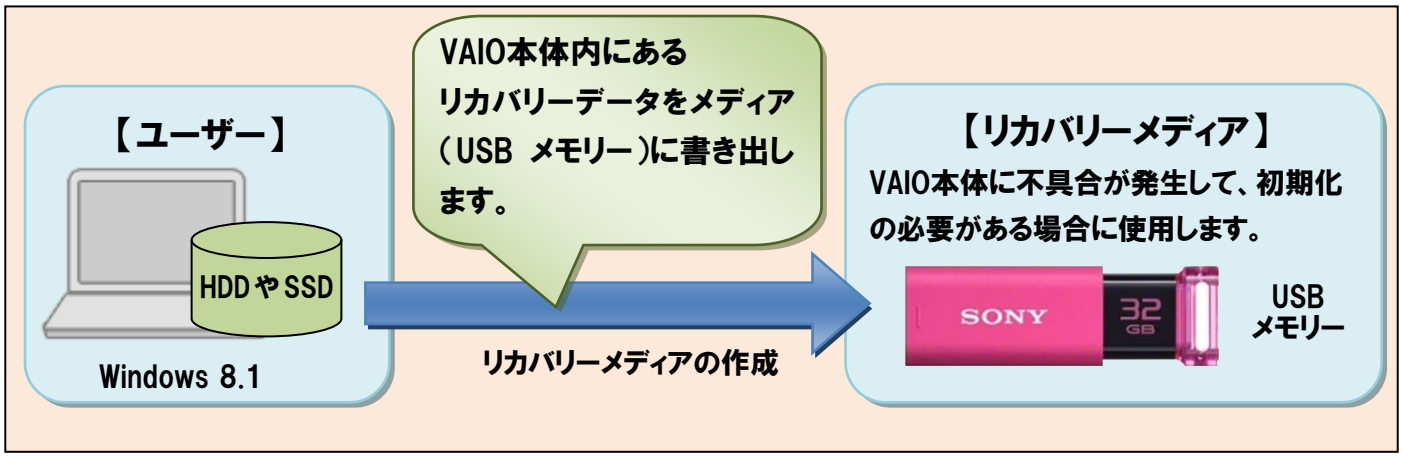


「確認できました」という表示が出るので「OK」ボタンを選択します。
以上で、Microsoft アカウントへの切り替え処理は終了です。以降、PC の起動後や再起動後に入力するパスワードは手順⑤で設定したパスワードになりますのでご注意ください。

⚠【ご注意】Microsoft アカウントで入力したメールアドレスの修正は、現在、マイクロソフトのシステム上できません。変更したい場合は、上記手順①から新規で Microsoft アカウントを作成する必要があります。

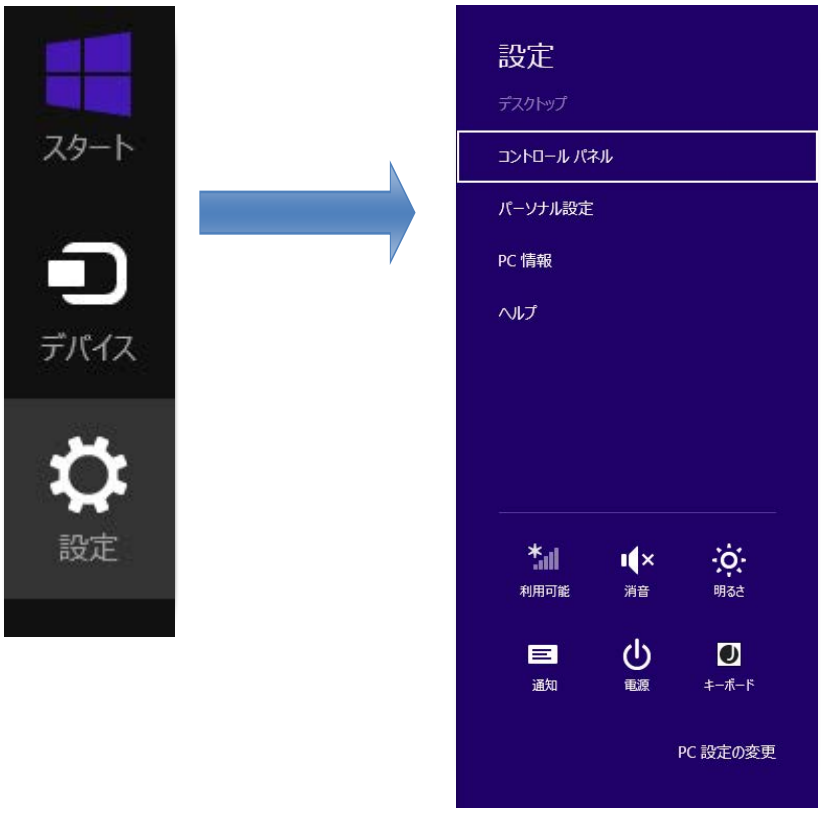
（８）リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアは、VAIO内の記録領域を購入直後の状態に戻す（初期化）ためのメディアです。普段VAIOを使用する時は必要ありませんが、VAIOに不具合が発生してしまい、どうしても初期化せざるを得ない場合に必要となります。万が一備えて、リカバリーメディアを作成します。



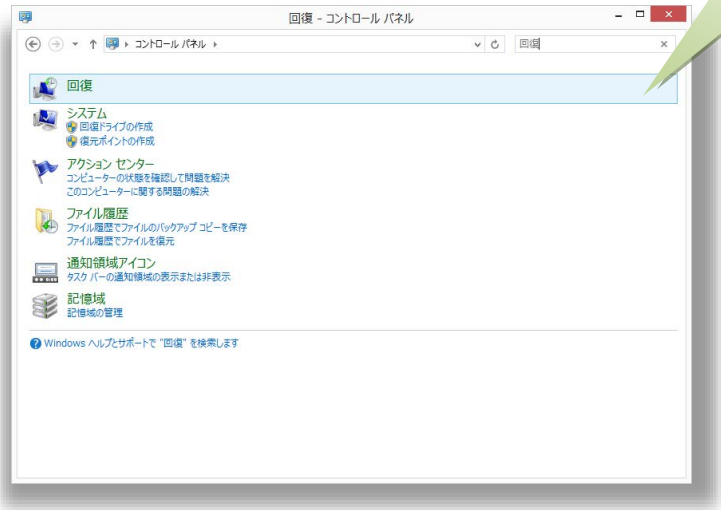
⚠【ご注意】以下の手順⑦で表示されるデータサイズより容量の大きい USB メモリーをご用意ください。また、リカバリーメディアとして作成した USB メモリーのデータを削除したり、USB メモリーに追加でデータを書き込まないようにご注意ください。リカバリーメディアの作成には、約 1～2 時間かかる場合がありますので、お時間に余裕がある時に実施してください。

① コントロールパネルの表示

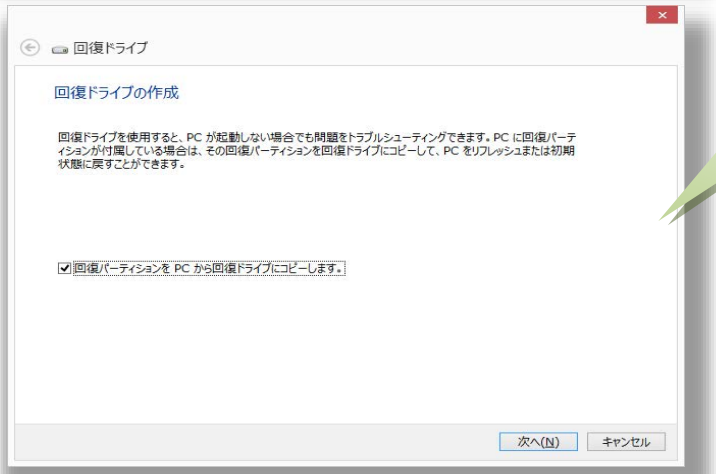


チャームの設定からコントロールパネルをクリックします

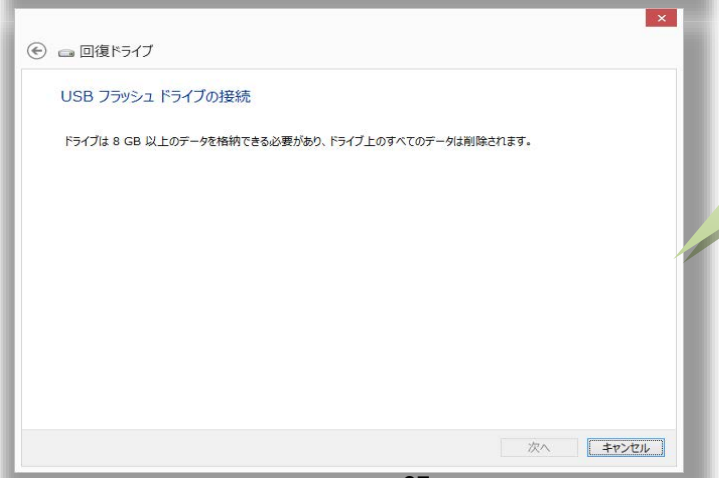
② 回復ドライブからリカバリーメディアを作成



コントロールパネルの検索ウィンドウに「回復」と入力し、「回復ドライブの作成」をクリックします



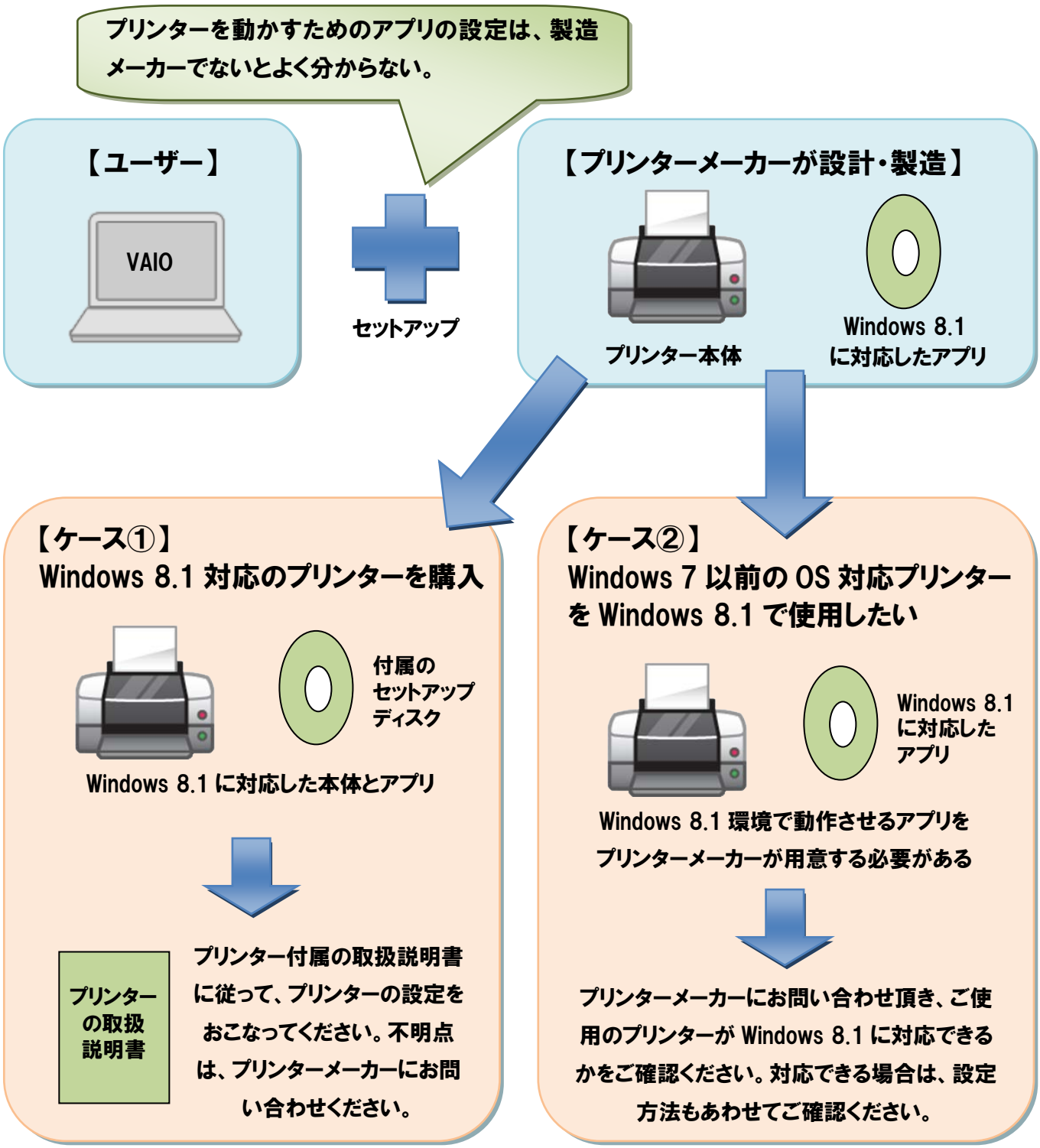
「回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします」を選択します。



USBドライブを接続し、画面に沿って、リカバリーメディアを作成します。

（９）プリンターの設定について

Windows 8.1で設定するプリンターには、2つのケースがあります。①Windows 8.1 対応のプリンターを購入した場合。② Windows 7以前のPCで使っていたプリンターを Windows 8.1 で使用する。①の場合は、プリンターに付属している取扱説明書に従って設定を進めてください。②の場合は、Windows 8.1 に対応したプリンターのアプリが必要となりますので、そのアプリが用意されているかどうかをプリンターメーカーにお問い合わせください。アプリが用意されている場合は、設定方法もあわせてプリンターメーカーに教えてもらうと良いでしょう。



（１０）Bluetooth（ブルートゥース）マウスの接続設定

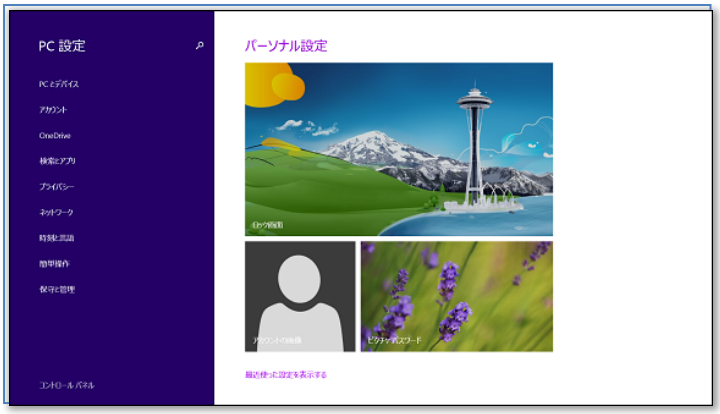
① チャームの「設定」の起動

「スタート」画面の右上隅にマウスポインターを移動して、黒い縦の帯(チャーム)を表示させます。その中の マークの「設定」を選択します。

② 「PC 設定の変更」の起動

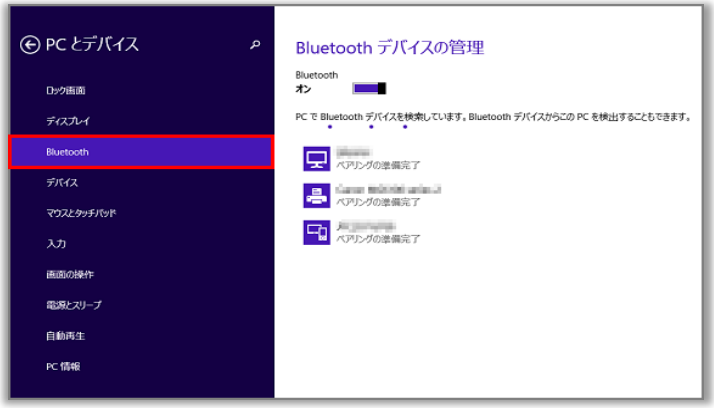
設定の中の「PC 設定の変更」を選択します。

③ 「PCとデバイス」の選択

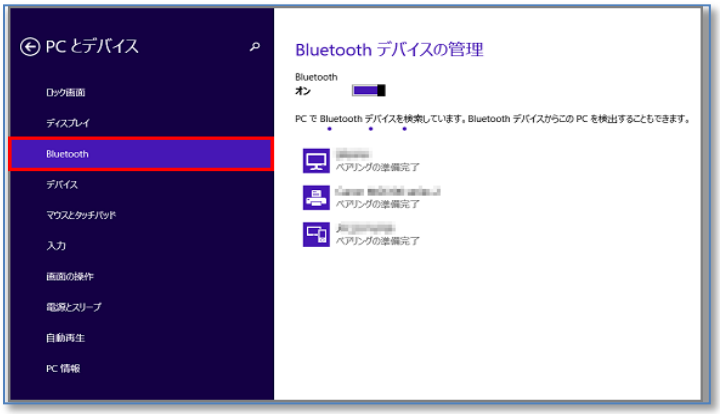


PC設定の「PCとデバイス」-「Bluetooth」を選択します。

③ 「Bluetooth」



④　「デバイス」の選択



右の「Bluetooth」がオンになっているかを確認します。

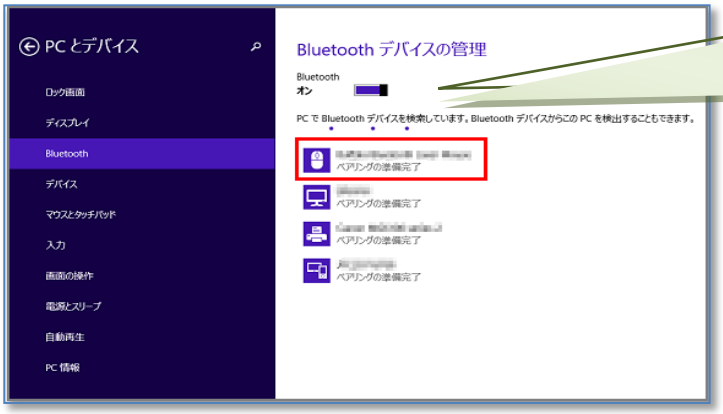
⑤　Bluetooth マウスの電源 ON と接続設定

マウスの底面（写真は「VGP-BMS21」の例です）

マウスの底側や側面に、マウスの電源スイッチがあるので、「ON」にします。その後、「CONNECT（コネクト）」ボタンを押して、マウスを「接続モード」にします。（マウスの電源スイッチや CONNECT ボタンの位置はマウスの取扱説明書をご確認ください。）

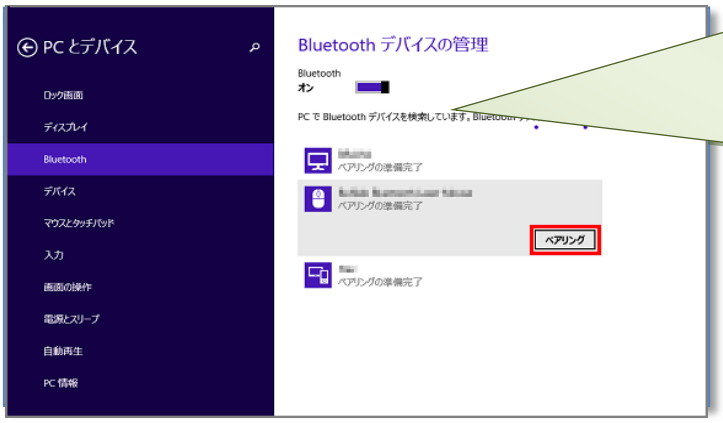
また、マウスの型名もあわせてご確認ください。

⑥　Bluetooth機器の選択



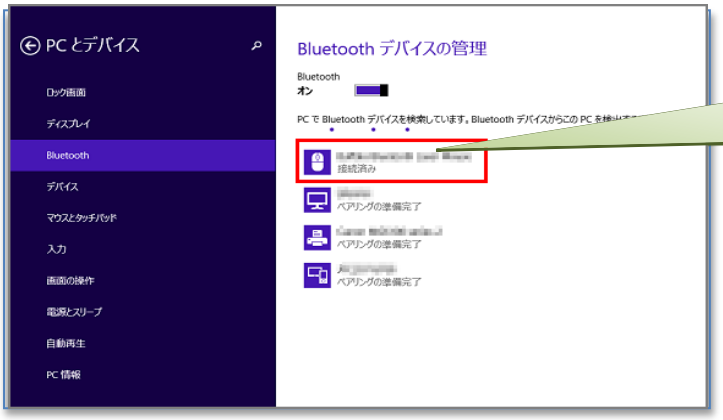
CONNECT　ボタンを押した後、Bluetooth 設定画面にマウスの型名で「ペアリングの準備完了」と表示されますので、その項目を選択します。

⑦　Bluetoothマウスの接続



「ペアリング」ボタンを選択します。
一覧に接続したいマウスが見つからない場合は、マウスが「接続モード」になっていないか、マウスの電池が切れている可能性がありますので、取扱説明書の確認や、電池の交換をお試しください。

⑧　接続の完了

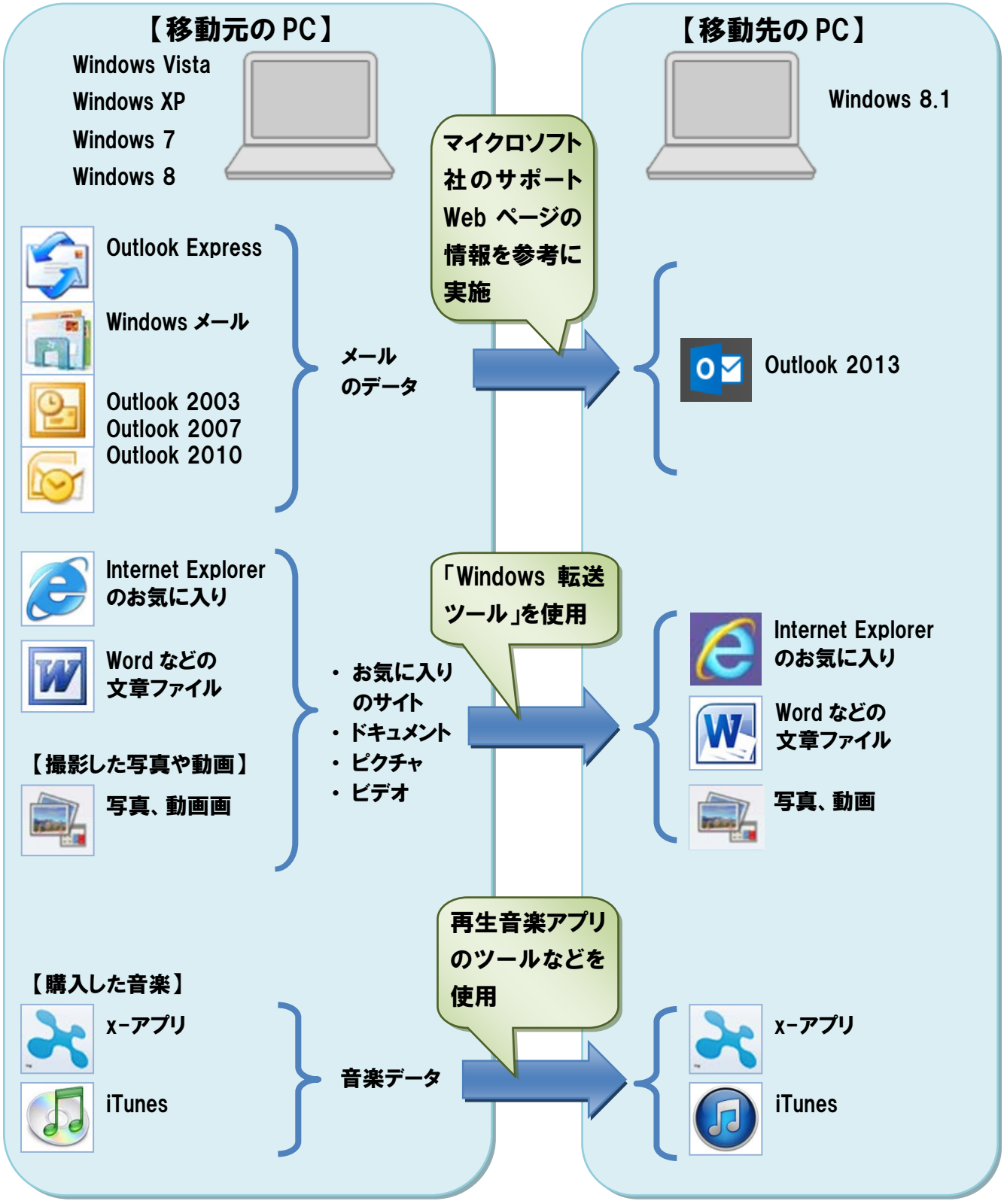


接続が成功したBluetooth機器の下に「接続済み」と表示されBluetooth マウスとの接続は完了です。

（１１）ユーザーデータの移動

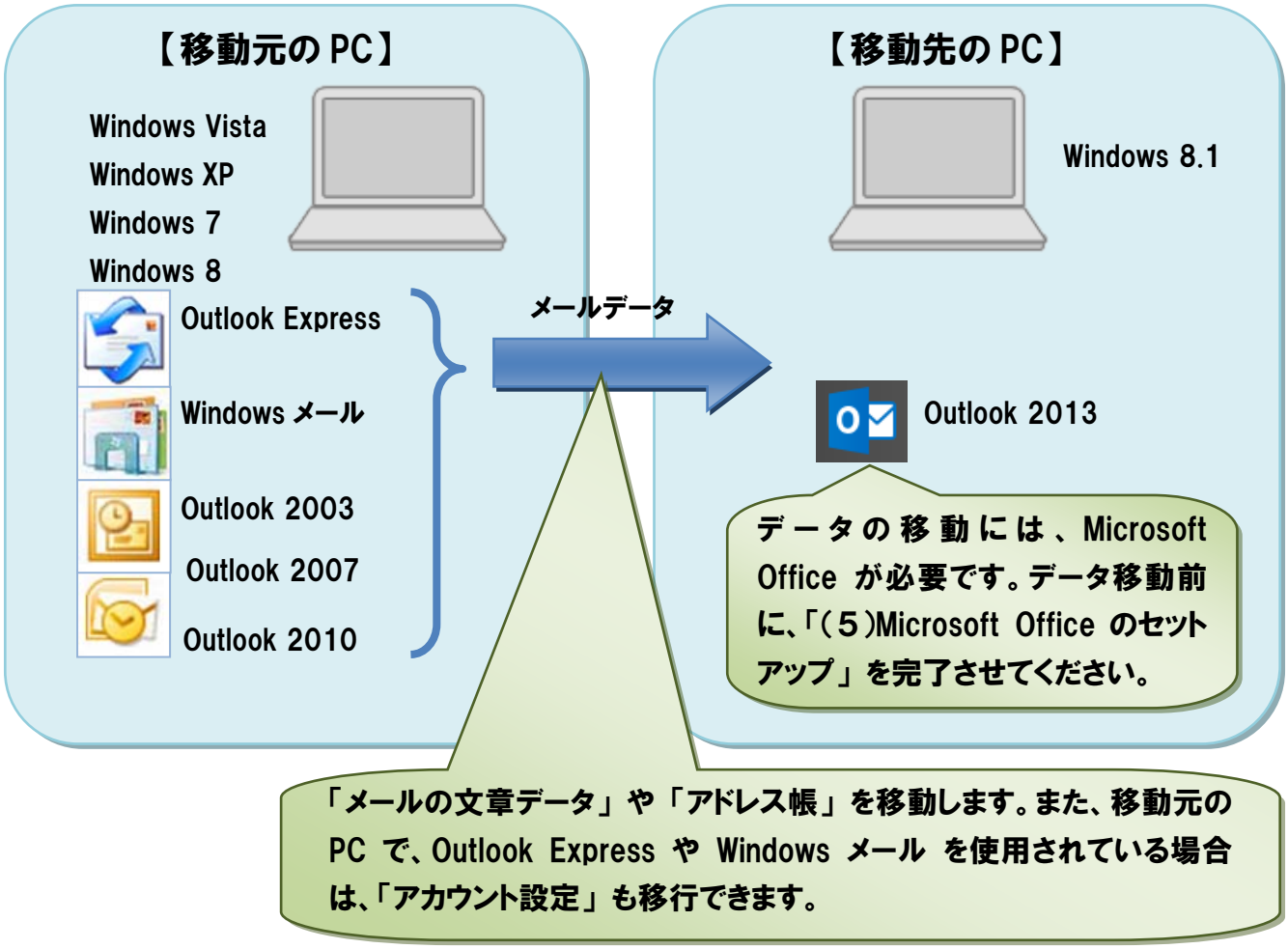
これまで使用していたPC に保存されている、メールや、Internet Explorer のブックマーク（お気に入り）、Wordなどの文章ファイル、音楽データを、Windows 8.1 が搭載された PCに移動する方法をご紹介します。

【ご注意】ここでの操作はデータの移動となり、そのデータを閲覧するアプリの移動はできません。移動先のアプリのインストールやセットアップは別途おこなってください。

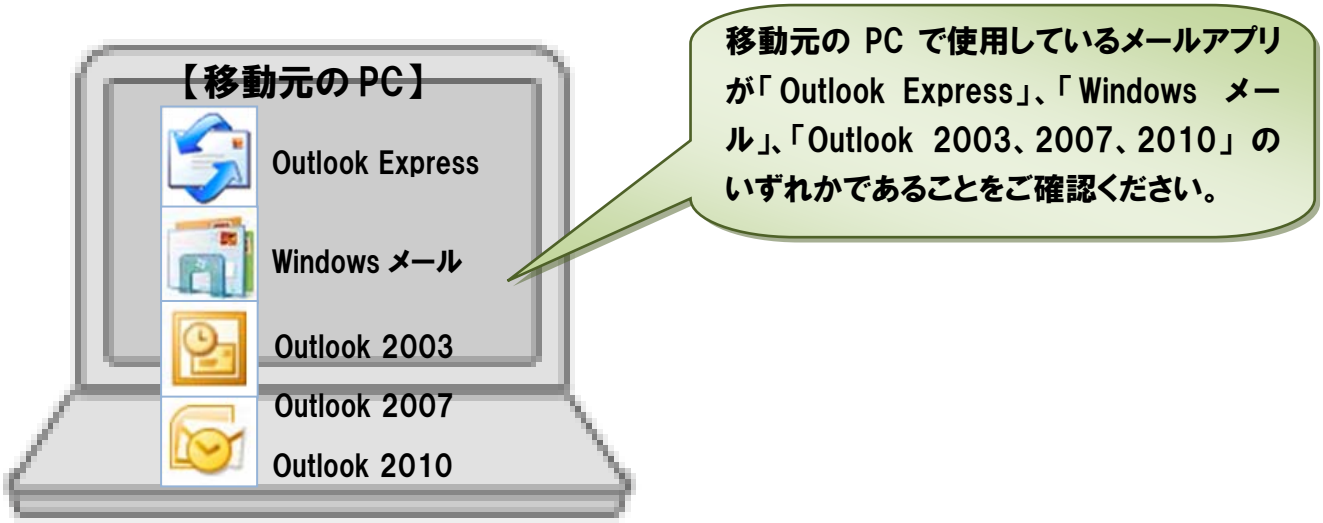


●メールデータの移動【移動先のアプリが「Outlook 2013」の場合】

メールデータの移動作業は多少手間がかかり、内容的に分かりにくい部分もあります。もし、以前のメールデータは必要ないと思われる場合は、メールデータの移動はせず、新しい VAIOで新規にメール設定をおこなってお使いください。以前のメールデータが必要な場合は、以下の情報を参考にメールデータの移動をお試しください。ここでは、移動元のPC の「Outlook Express」「Windowsメール」、「Microsoft Outlook 2003」、「Microsoft Outlook 2007」のメールデータを、移動先の PCにインストールされている「Microsoft Outlook 2010」「Microsoft Outlook 2013」に移動する方法をご紹介します。



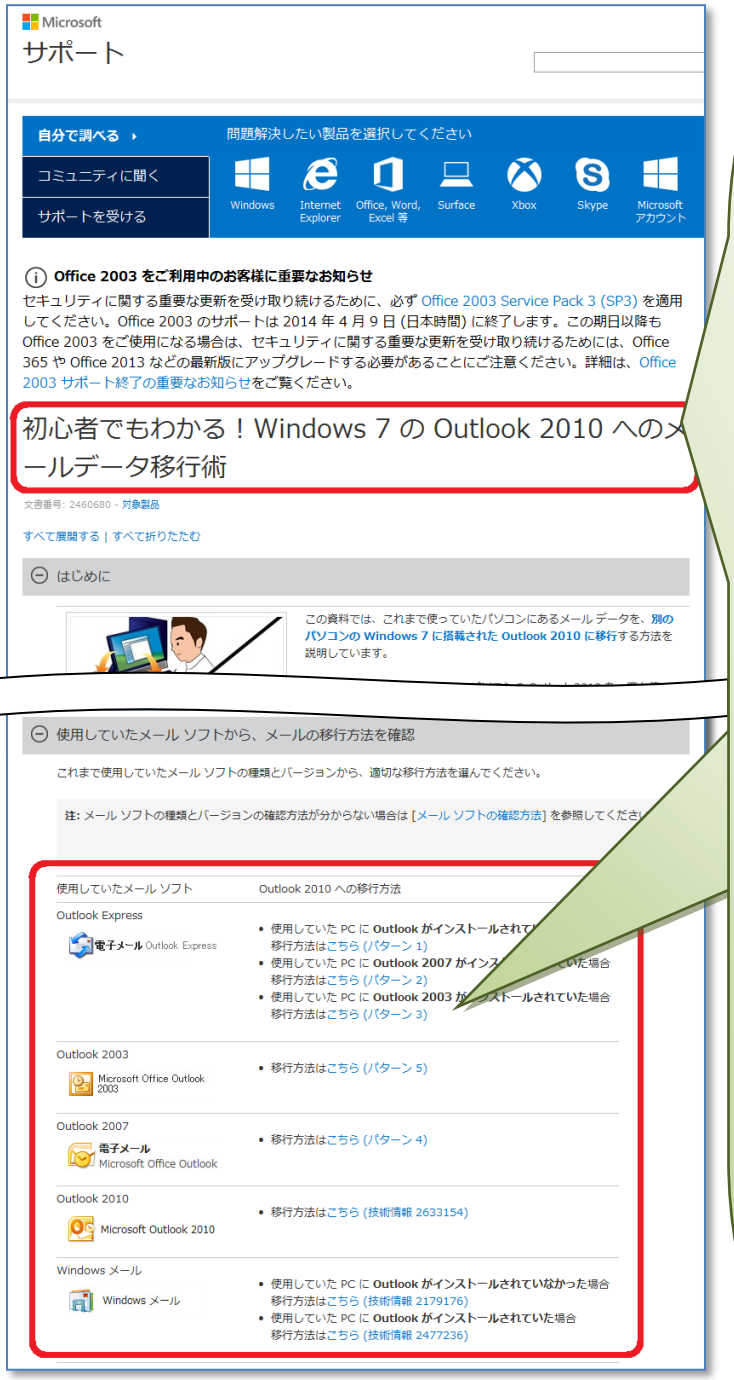
④ 移動元のメールアプリの確認



⑤　USB メモリーの用意

PC 間でメールデータを移動する際に、USB メモリーを使用します。16GB や 32GB 程度の容量の USB メモリーをご用意ください。（リカバリーメディアの作成で使用した USB メモリーとは別の USB メモリーをご用意ください。）

⑥　マイクロソフトのサポートページの参照



以下の URL のマイクロソフト社のサポート Web ページを開きます。

【Outlook 2013 へのメールデータ移行術】
http://support.microsoft.com/kb/2460680/ja

ページの中ほどに、移動元の PC で使用しているメールアプリの組み合わせで、パターン分けしたデータ移動方法が紹介されていますので、この内容に従ってメールデータの移動をおこなってください。

このサポートページは、Outlook 2010 へのデータ移動方法について記載されていますが、Outlook 2013 でも同様です。また、移動先の PC の OS が Windows 7 を想定して作られていますが、Windows 8.1 でも操作内容はほぼ同じです。唯一、保存した USBメモリーのデータを Windows 8.1 で確認する手順が多少異なりますので、それを後述に補足します。

もしも、このサポート Web ページで不明な点がありましたら、マイクロソフト社にお問い合わせください。

【補足】USBメモリーのデータをWindows 8.1で確認する方法

① USB メモリーを PC に接続

USB メモリーを PC の USB コネクタに接続します。

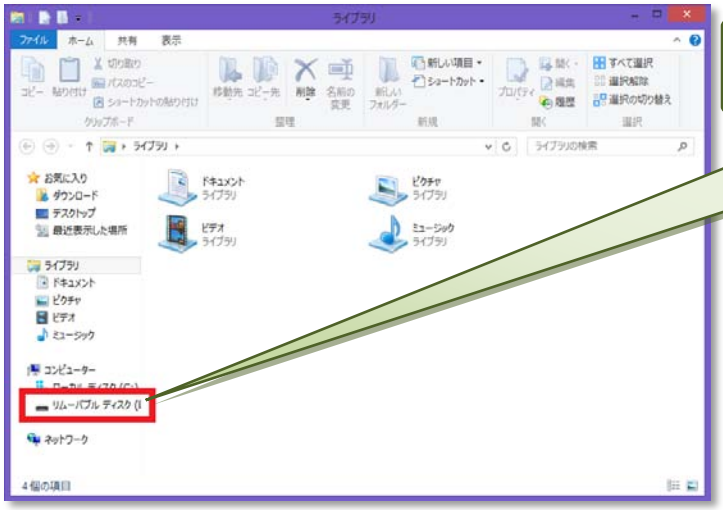
② デスクトップ画面の表示

「スタート」画面左下にある「デスクトップ」タイルを選択してデスクトップ画面を表示します。

③ エクスプローラーの起動

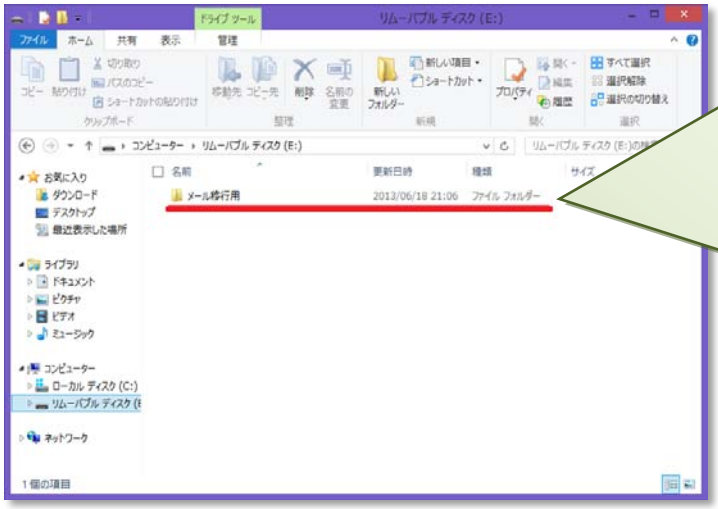
画面左下にある のアイコンを選択して、エクスプローラーを起動します。

④ リムーバブルディスクの選択



表示された画面左側にある「リムーバブルディスク」を選択します。

⑤ USB メモリーの中身の確認

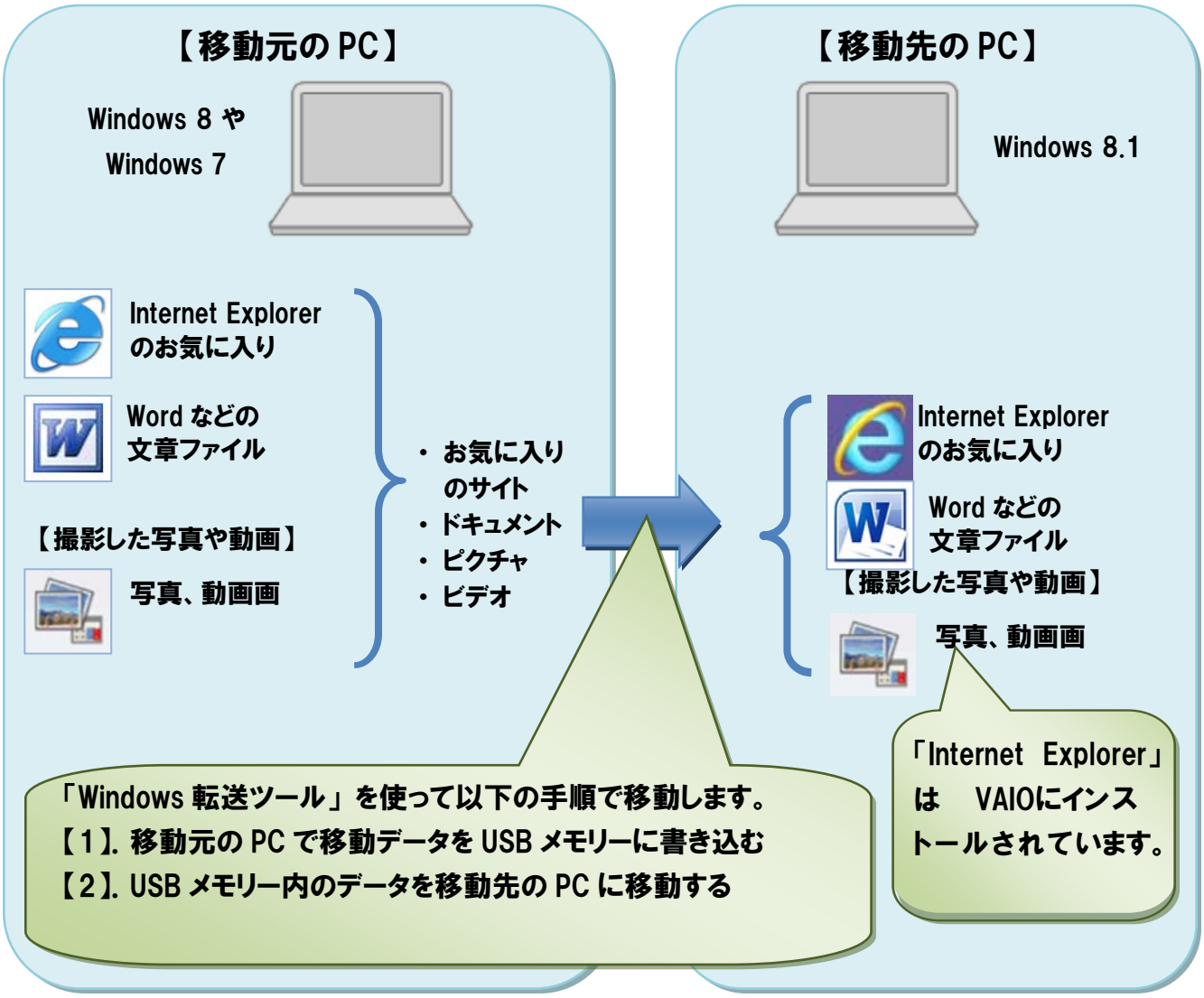


画面右側にUSBメモリーに書き込まれている内容が表示されます。

USB メモリーに書き込まれている内容を確認する方法は以上です。

マイクロソフト社のサポートWebページに記載されている、Windows 7でUSBメモリーの内容を確認する手順の代わりに、Windows 8.1 で確認するこの方法でお試しください。

●Internet Explorer のお気に入りや、ご自身で作成した文章、撮影した写真や動画データを移動する



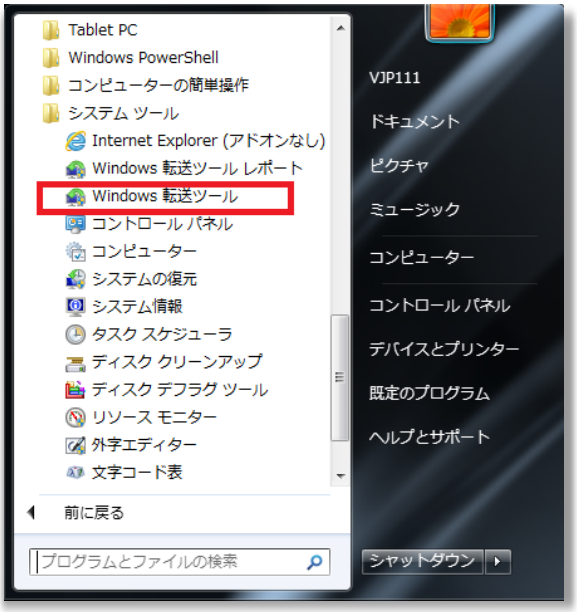
＊ Windows 8.1のWindows転送ツールで移行できるのは、 移動元PCがWindows 8またはWindows 7の場合のみですので、ご了承ください。

【1】. 移動元の PC で移動データを USB メモリーに書き込む

① USBメモリーの用意と移動元の PCへの接続

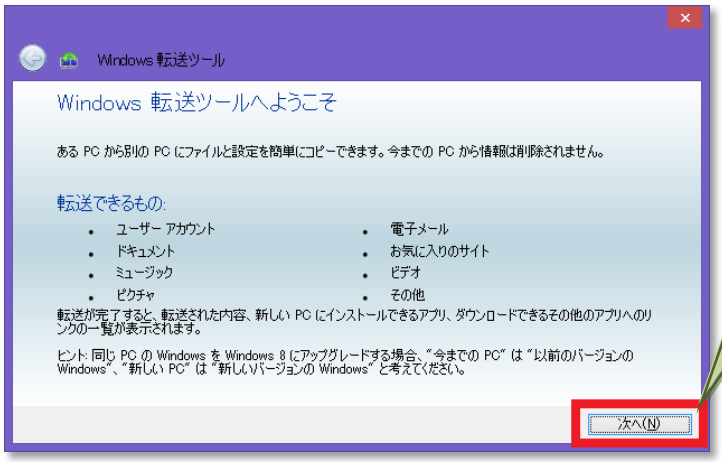
PC 間でメールデータを移動する際に、USB メモリーを使用します。16GB や 32GB 程度の容量の USB メモリーをご用意ください。(リカバリーメディアの作成で使用した USB メモリーとは別の USB メモリーをご用意ください。) USB メモリーを「移動元の PC」に接続します。

② 移動元のPC ですべてのアプリの表示



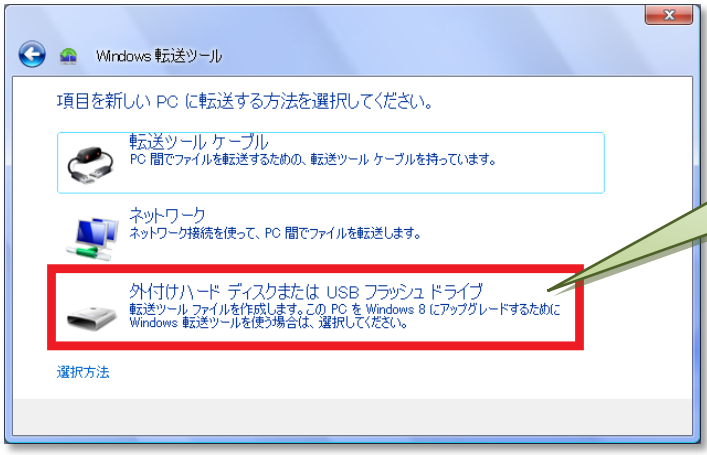
「すべてのアプリ」からWindows転送ツールを起動します。

③ Windows転送ツールが起動します



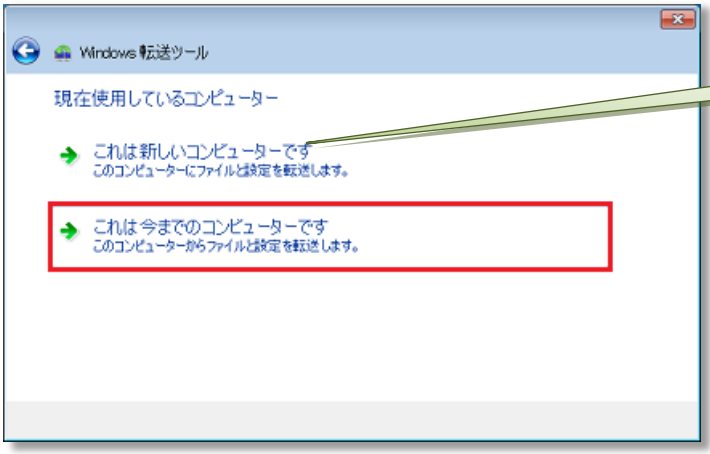
「次へ」ボタンを選択します。

④　転送方法の選択



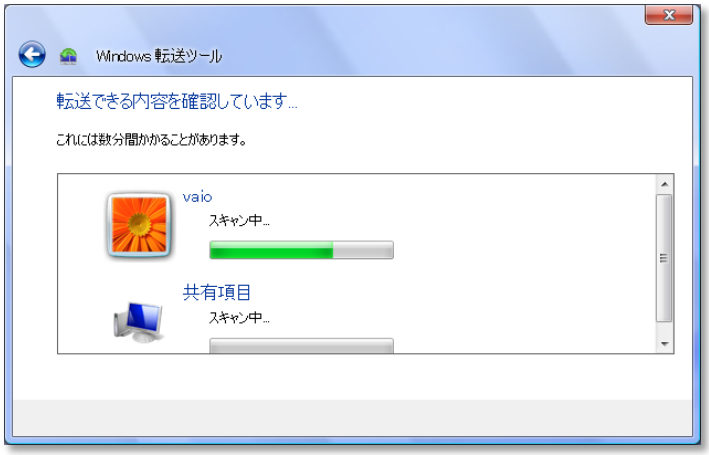
「外付けハードディスクまたは USB フラッシュドライブ」を選択します。

⑤　現在使用している PC



「これは今までの PC です」を選択します。

⑥　転送内容のスキャン

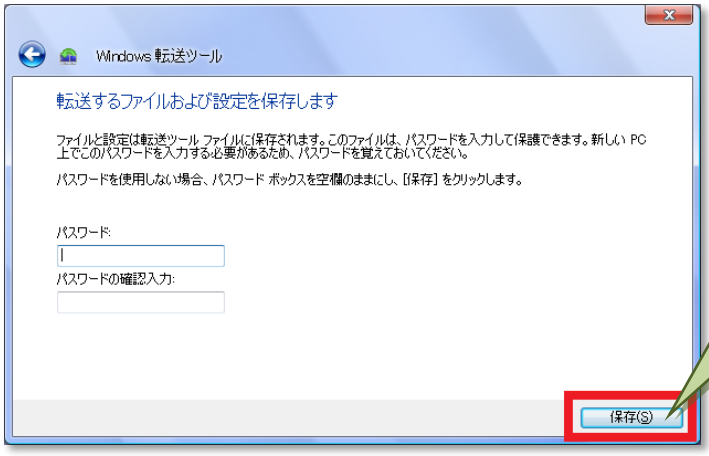


移動元 PC の転送内容を確認するために、スキャンが開始されるので、終わるまで待ちます。

⑦　転送内容の確認

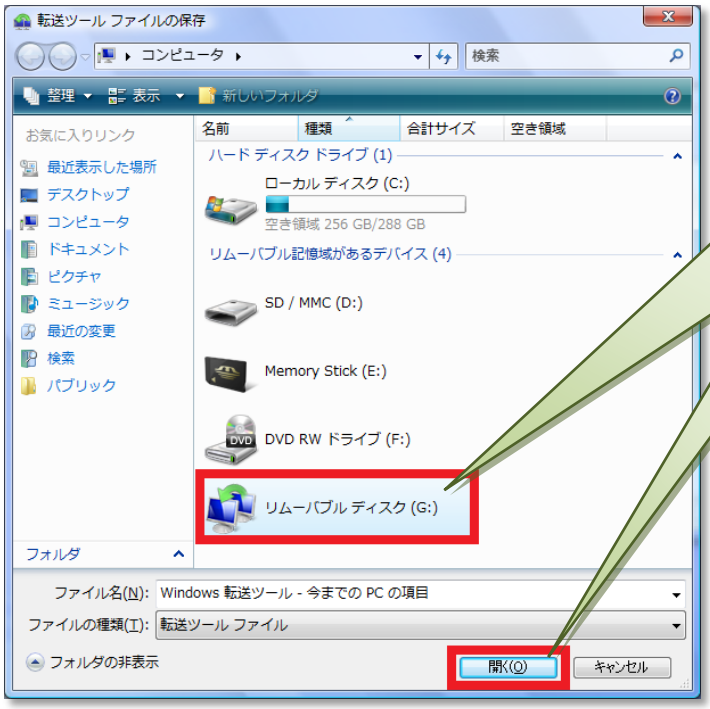
「次へ」ボタンを選択します。

⑧　転送ファイルのパスワード設定



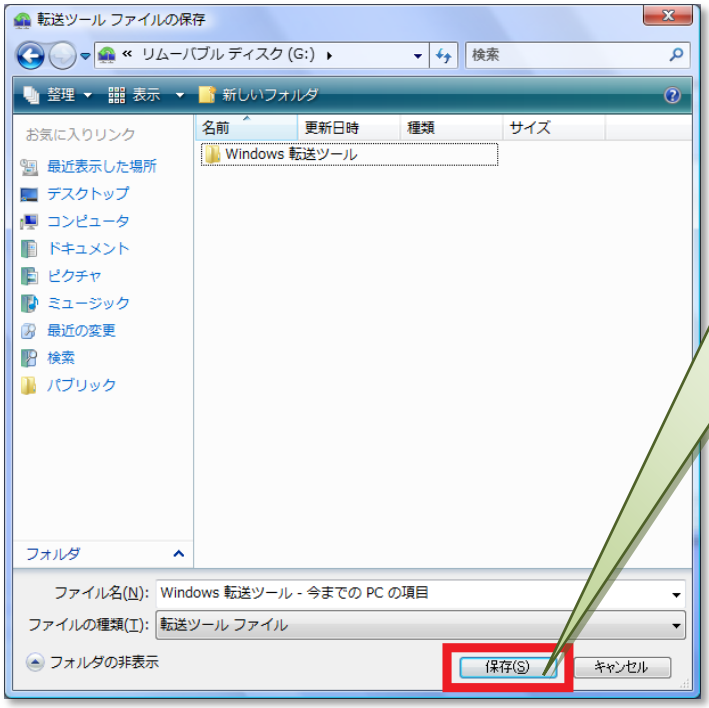
パスワードは入力せずに、「保存」ボタンを選択します。

⑨　転送ファイルの保存先指定（１）



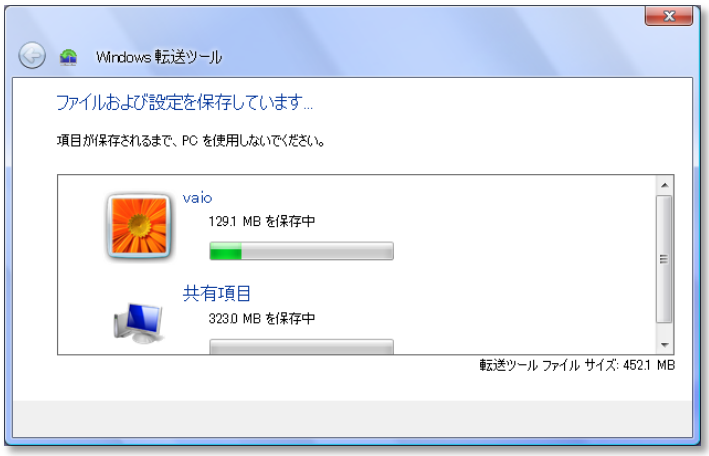
「リムーバブルディスク」を選択して、「開く」ボタンを選択します。

⑩　転送ファイルの保存先指定（２）



「保存」ボタンを選択します。

⑪　ファイルの USB メモリーへの書き込み

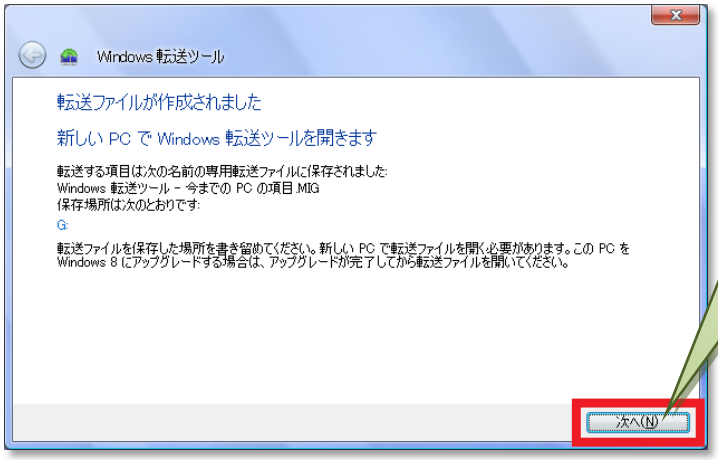


USB メモリーにファイルの書き込みが開始されますので、終了するまで待ちます。

⑫　USB メモリーへの書き込み完了（１）

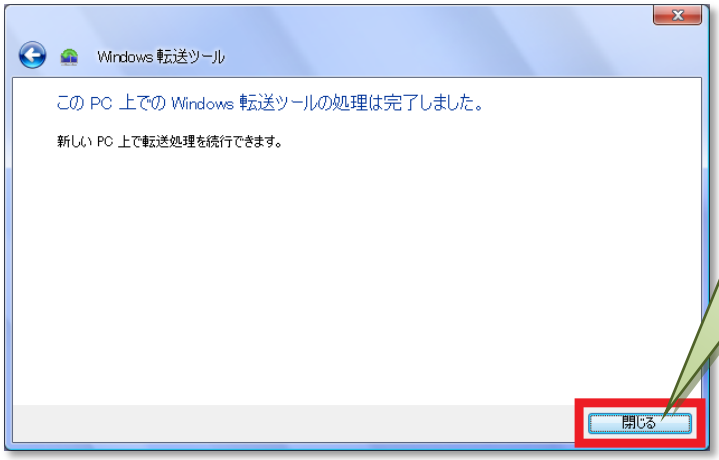
「次へ」ボタンを選択します。

⑬　USB メモリーへの書き込み完了（２）



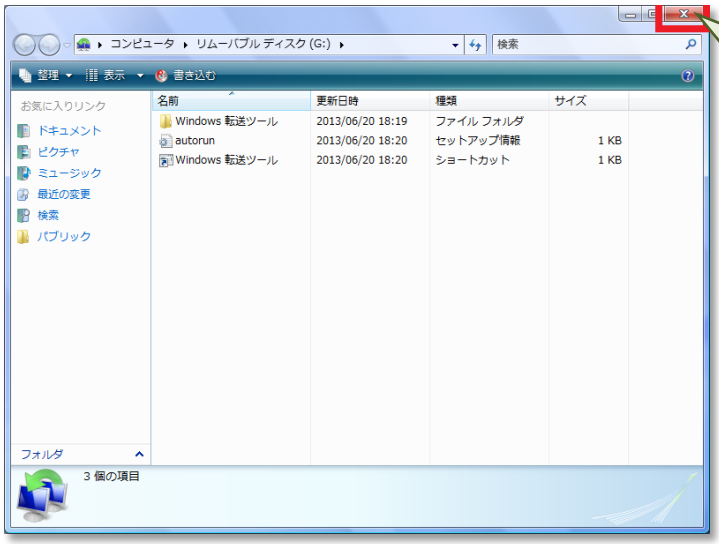
「次へ」ボタンを選択します。

⑭　USB メモリーへの書き込み完了（３）



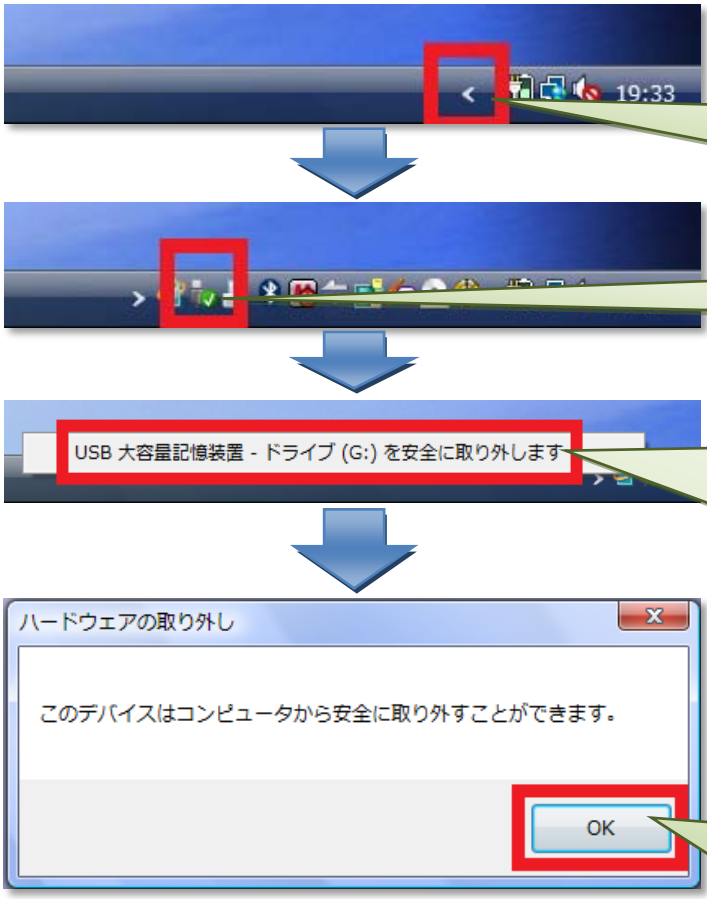
「閉じる」ボタンを選択します。

⑮　「リムーバブルディスク」の画面を閉じる



手順①で②表示した、「リムーバブルディスク」の画面右上の「×」ボタンを選択して閉じます。

⑯　移動元の PC から USB メモリーの取り外し



本体から USB メモリーを取り外す作業を行います。画面右下にある、「＜」マークを選択します。

現れるアイコンの中から、緑色の「✔」マークを選択します。

「USB 大容量記憶装置－ドライブ(G:)を安全に取り外します」のメッセージが表示されるので、このメッセージを選択します。(「G:」のローマ字はお使いの PC で異なります。)

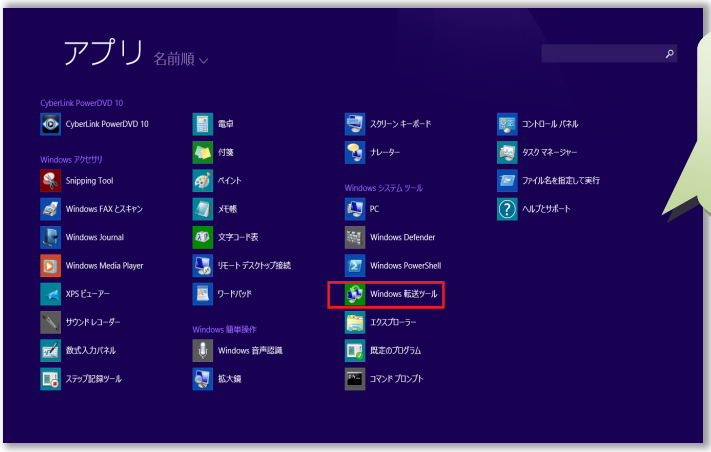
「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」というメッセージが出るので、「OK」ボタンを選択します。

【２】.USB メモリー内のデータを移動先の PC に移動する

① 移動先のPC のスタート画面からすべてのアプリを表示します

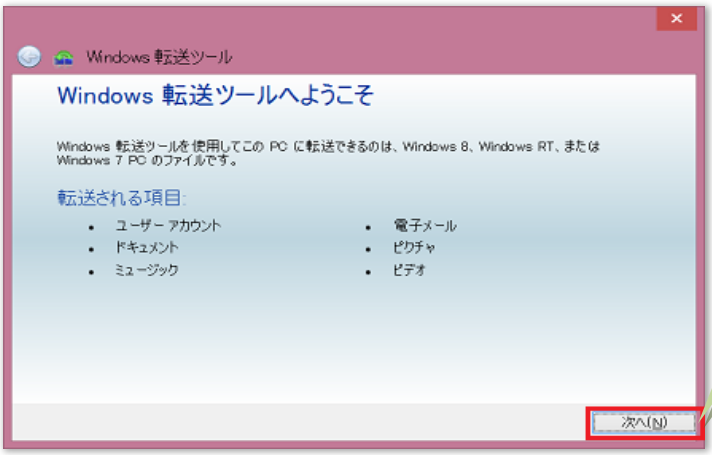
「スタート」画面左下にある を選択して「アプリ」画面を表示します。

② Windows転送ツールをを選択



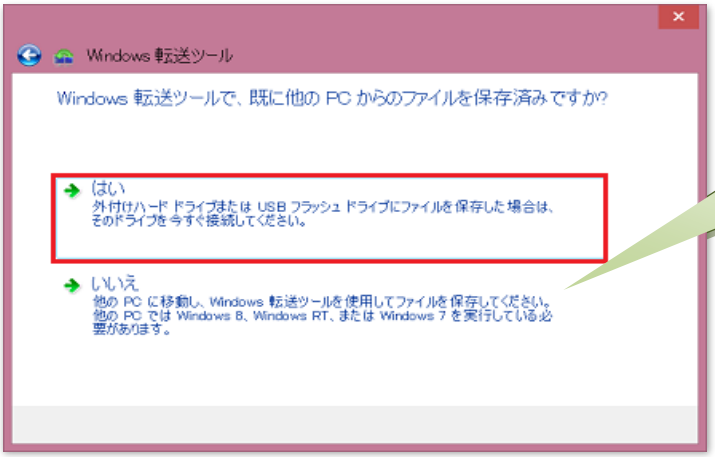
「アプリ」一覧 からWindows転送ツールを起動します。Windows転送ツールが画面に見当たらない場合は、画面を右スクロースします。

③ Windows転送ツールが起動します



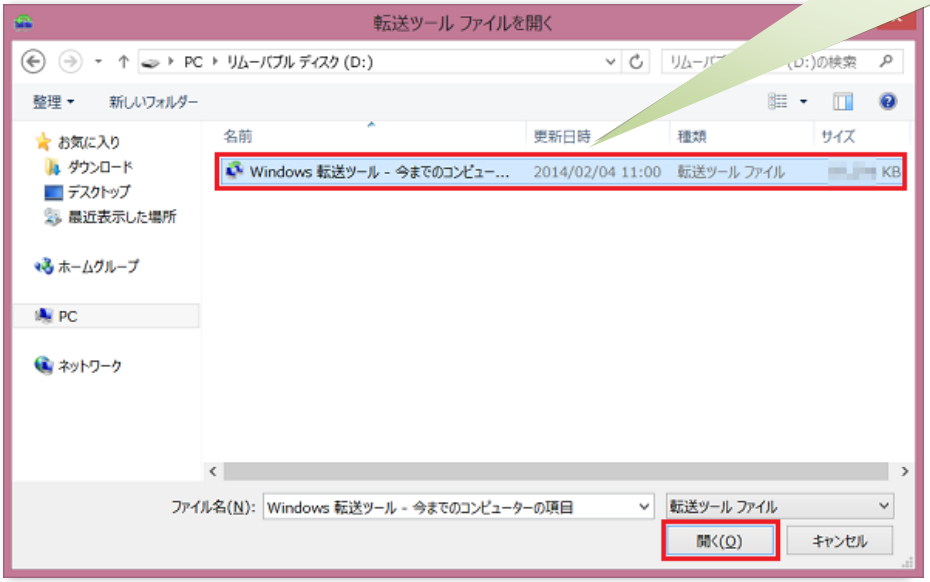
「次へ」ボタンを選択します。

④　他のPCからのファイル保存済みの選択



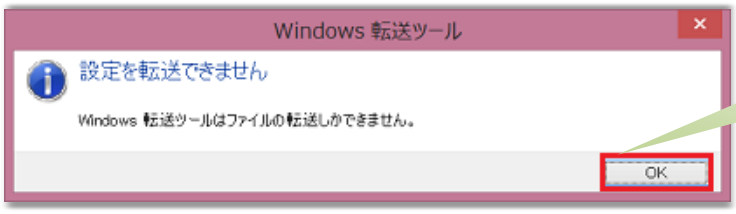
「はい」を選択します。

⑤　ファイルを開きます



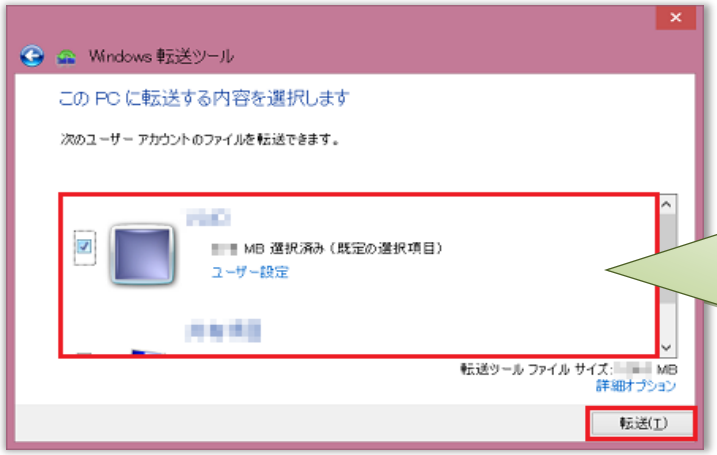
「リムーバブルディスク」ー「Windows転送ツールー今までのコンピューターの項目」を選択して、「開く」ボタンを選択します。

⑥　「設定を転送できません」のメッセージが表示されます



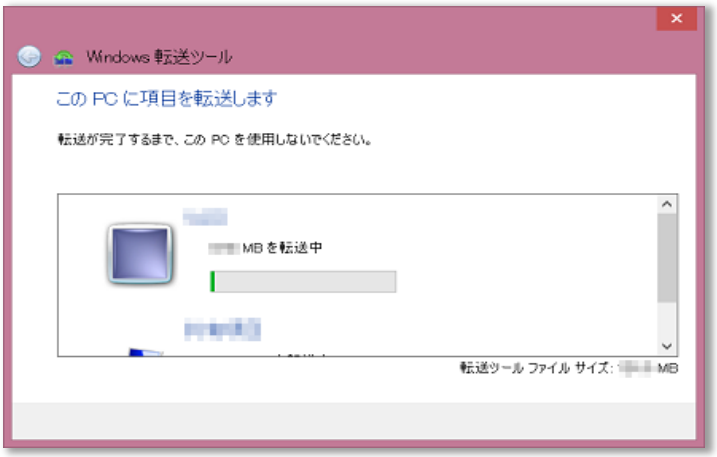
「OK」を選択します。

⑦　PCに転送する内容の選択



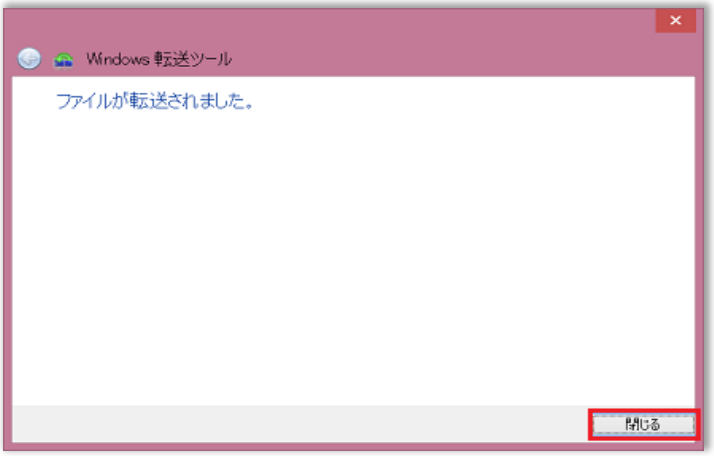
転送する項目にチェックを付けて、「転送」ボタンを選択します。

⑧　データの転送開始



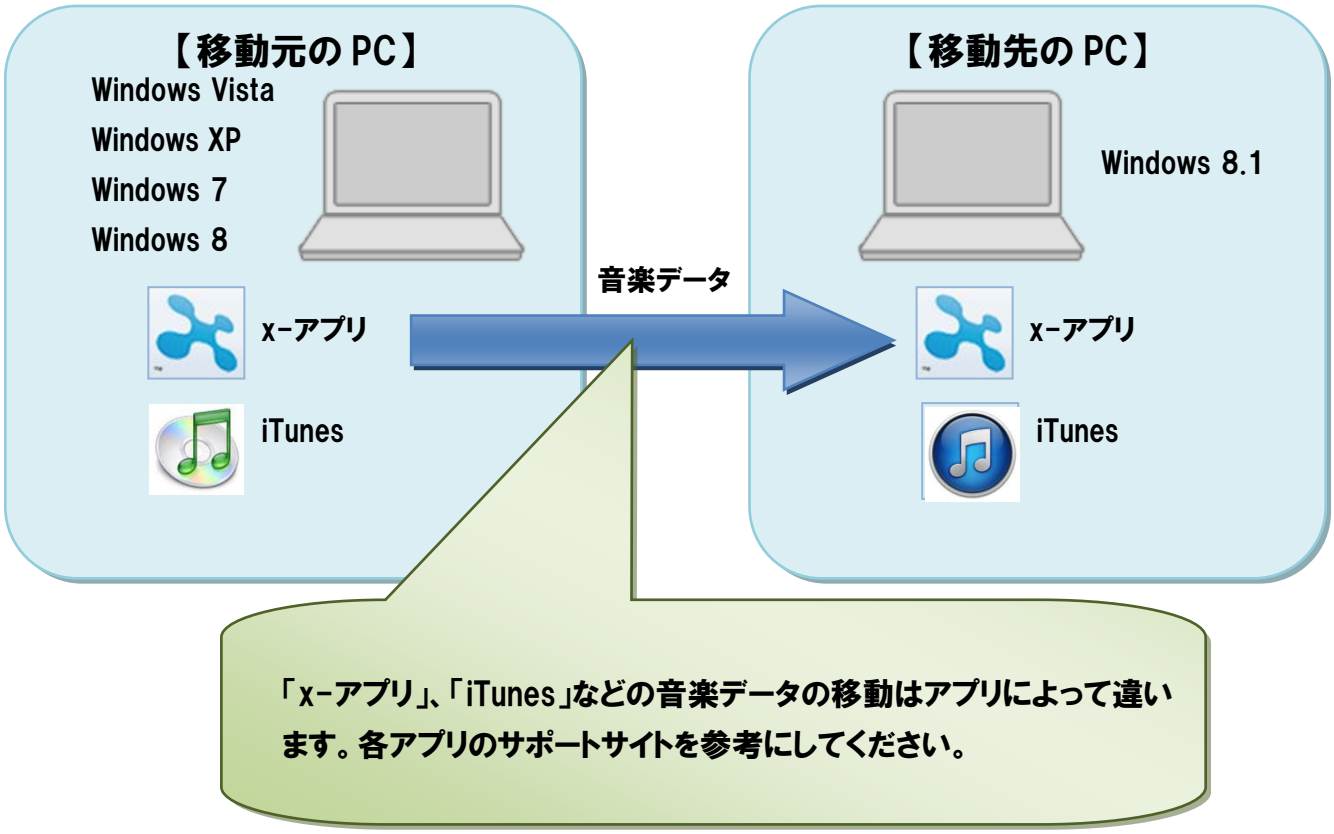
USB メモリーからPCへのデータの転送が開始されますので、終了するまで待ちます。

⑨　転送の完了



「ファイルが転送されました。」との画面が表示されると、処理は完了です。

●x-アプリ（エックス・アプリ）、iTunesなどのの音楽データの移動



（１２）VAIO電子マニュアルの確認方法

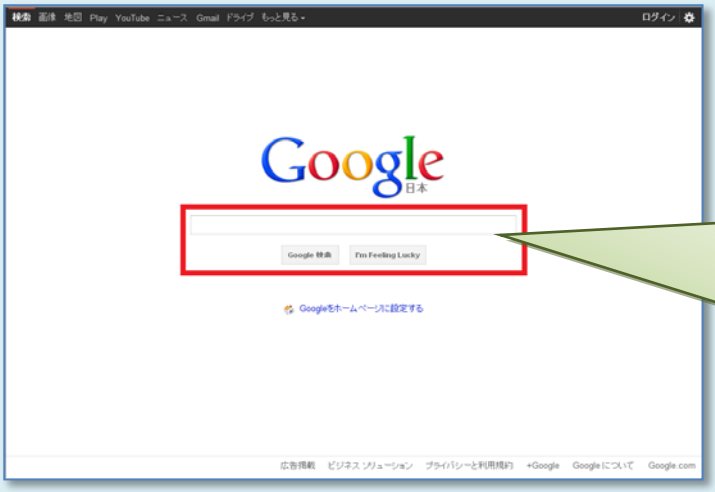
VAIOではマニュアルを電子化して提供しています。PDF形式ですので、プリンターで紙に印刷してお使いいただけます。

アプリ一覧から「VAIO電子マニュアル」をクリックして表示します。

（１３）インターネット検索の活用のススメ

PC やインターネットを使っていると、知りたいことや分からないことが出てきます。そのような情報の多くの場合、ネット上に丁寧に情報が掲載されていたり、同じ状況に遭遇している人が簡単な情報を出してくれていたりしていて、インターネットの検索を上手く使ってそれらの情報を手に入れることができれば、知りたい情報をより早く手に入れることができます。

インターネットの検索には、Google や Yahoo、Bing などの検索サイトを活用します。ここでは、Google の検索サイトを使用した、幾つかの検索事例を挙げて、検索のコツをご説明します。他の検索サイトでも検索の方法は同じです。

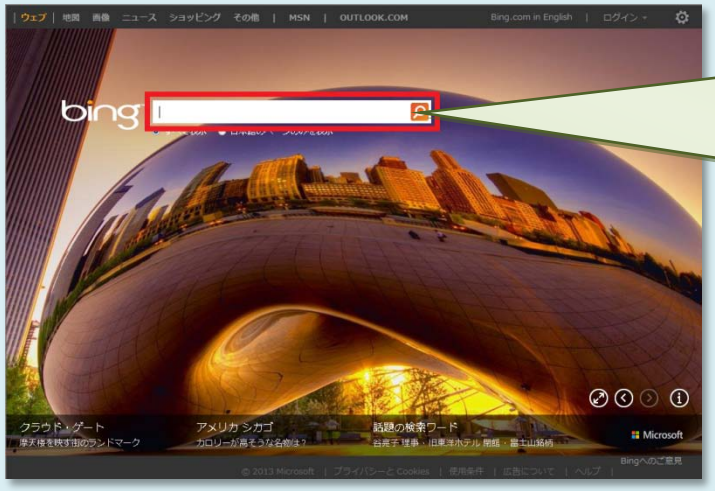


【「Google」の検索サイト】
http://www.google.co.jp/

Google 社が提供する検索サイトです。使用時期によって表示される絵が変わる時があります。

【「YAHOO! JAPAN」の検索サイト】
http://www.yahoo.co.jp/

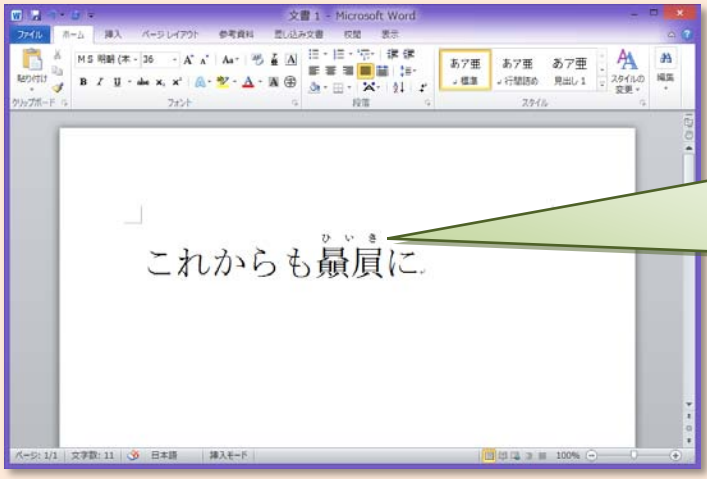
ヤフー社が提供する検索サイトです。



【「bing」の検索サイト】
http://www.bing.com/

マイクロソフト社が提供する検索サイトです。使用時期によって表示される絵が変わる時があります。

【例】. Microsoft Office Word 2010 で、文字の上にルビをつけたい



「Word 2010 を使って、文字の上にルビをつけたいが、そのやり方を知らない。」このような使い方を知りたいケースついて、インターネット検索を利用して調べる方法を考えます。

① 「Google」の検索サイトを開く

【「Google」の検索サイト】
http://www.google.co.jp/

上記の Google の検索サイトを開きます。「Google」の文字の絵が、まれに変わる時がありますが、Google の検索サイトになります。

② 検索したい内容の入力と検索

「Google」の文字の下にある文字検索欄に、「マイクロソフト ワード 2010 文字にルビをつける」と入力して、「Google 検索」ボタンを選択します。この文字検索には以下のようなちょっとしたコツがあります。検索時は参考にしてみてください。

【文字検索入力のコツ】

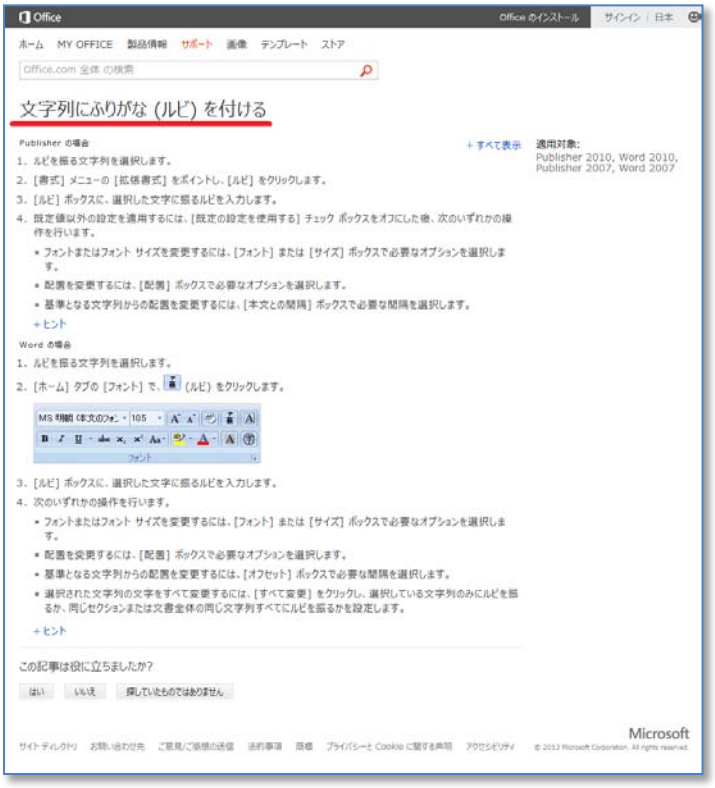
（アプリや機器のメーカー名）□（アプリや機器の名称）□（知りたいこと） ←文字検索欄

検索欄に上記のように入力して検索すると、メーカーから出している、アプリや機器に関する、知りたいこと、の情報にヒットしやすくなります。特に、（知りたいこと）は極力短い文にして入力するのがコツです。 （※ 上記の「□」部分は「スペース」の意味です）

③　Google 検索結果

検索した文字列の内容に近い順番に、上から結果が表示されます。上から順に選択して Web ページを閲覧して、知りたい情報があるかどうか確認していきます。ここでは、一番上に表示された、「文字列にふりがな（ルビ）を付ける － Word － Office.com － Microsoft」 を選択して、Web ページを閲覧してみます。

④　検索結果の Web ページの閲覧



Web ページを開くと、「文字列にふりがな（ルビ）を付ける」というタイトルのマイクロソフト社のサポートページが表示され、操作の仕方が記載されていて、目的の情報を手に入れることができました。

このように、インターネット検索を活用すると、いちいちメーカーに電話で問合せするよりも早く知りたいことが分かるので、とても便利です。

（１４）Windows 8.1 搭載のVAIOを快適にお使いいただくために

Windows 8.1 は Windows 7 以前のOSから表示や操作方法が大きく変わりました。新しいOSに関する情報を収集したり、セキュリティー対策の実施、大切なデータのバックアップをこまめにとることでVAIOを快適にお使いいただけます。

●新しくなった Windows 8.1 の基本操作を知る
●セキュリティーへの意識を高く持ち、セキュリティー対策を実施する
●こまめに PC のファイルデータのバックアップをとる

●新しくなったWindows 8.1 の基本情報を知る

マイクロソフトのサポートページに、Windows 8.1 の概要や基本的な使い方についての情報が掲載されています。

Web ページは以下の URL から確認することができます。

【Windows 8.1の基本情報】
https://support.microsoft.com/ja-jp/products/windows?os=windows-8.1

●セキュリティーへの意識を高く持ち、セキュリティー対策を実施する

昨今、ニュースなどで個人情報の漏えいや、他人に PC を乗っ取られてしまい事件に巻き込まれる話などが取り上げられています。このような問題に巻き込まれないようにするためには、セキュリティー対策を実施することが必要です。

１）セキュリティー対策には次の項目を実施します。

① セキュリティー対策アプリをインストールし、常に最新の状態にする
② Windows Update で OS を最新の状態にする
③ VAIOサポートページで VAIOオリジナルアプリやドライバーを最新の状態にする
④ その他のアプリを最新の状態にする

PDFを閲覧するための「Adobe　Reader」、インターネットの動画を閲覧するための「Adobe Flash Player」、インターネットのプログラムを動かすための「Java」を最新版に更新する必要があります。

●こまめに PC のファイルデータのバックアップをとる

「PC が起動しなくなってしまった」、「誤ってファイルを削除してしまった」など大切なファイル（データ）を失ってしまう不測の事態に備え、こまめにファイルのバックアップをとることをおすすめします。ここでは、「ファイルをバックアップする方法」と、ファイルが消失してしまった時に使用する、「バックアップファイルを復元する方法」をご紹介します。

⚠【ご注意】ここで紹介するバックアップ方法では、著作権がある x-アプリなどの音楽データをバックアップすることはできません。音楽データは、音楽再生アプリのバックアップツールやアプリ独自の方法でデータをバックアップ・復元する必要があります。詳細は、インターネット検索などで、お使いの音楽再生アプリのデータのバックアップ方法と復元方法をご確認ください。

【１】. PC のファイルをバックアップする方法

① バックアップのためのメディアを用意し、PCに接続する

【 USB メモリー 】

【 外付けハードディスク（HDD） 】

PC ファイルの保存先のメディアとして、「USB メモリー」と「外付け HDD」があります。

●USB メモリー
外付け HDD と比べて、安くてコンパクトだが、保存できるデータ量が小さいため、文章データ、少量の写真や動画データの保存に適している。

●外付けハードディスク（HDD）
保存できるデータ量が大きいため、大量の写真や動画データの保存に適している。

多くの写真や動画を PC に保存している場合は、外付け HDD をご用意ください。それ以外の場合は、16GB や 32GB 程度の容量の USB メモリーをご用意ください。（リカバリーメディアの作成で使用した USB メモリーとは別の USB メモリーをご用意ください。）

用意したメディアを、メディア付属の取扱説明書に従って PC 本体に接続します。

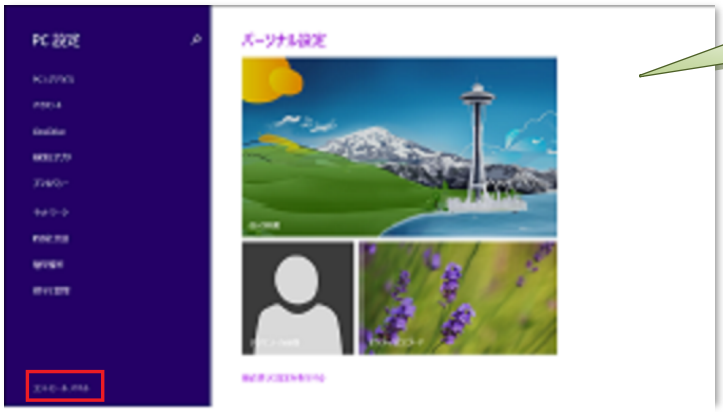
② チャームの表示

画面の右上隅にマウスポインターを移動して、黒い縦の帯(チャーム)を表示させます。その中の マークの「設定」を選択します。

③ 「PC設定の変更」の起動

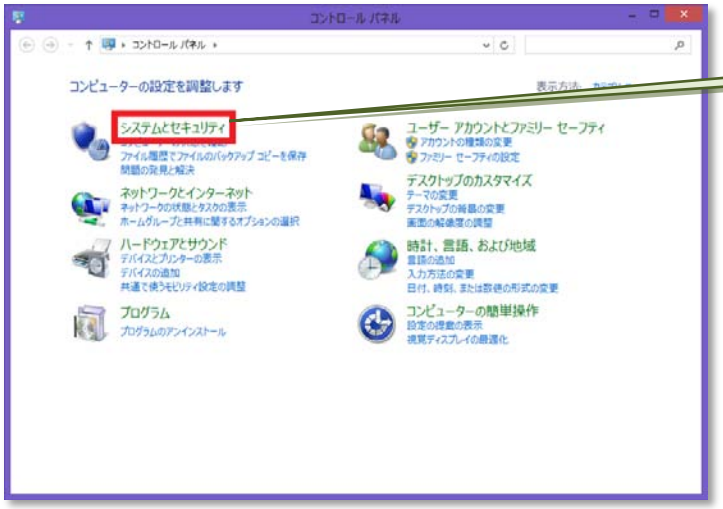
「PC設定の変更」を選択します。

④ 「コントロールパネル」の起動



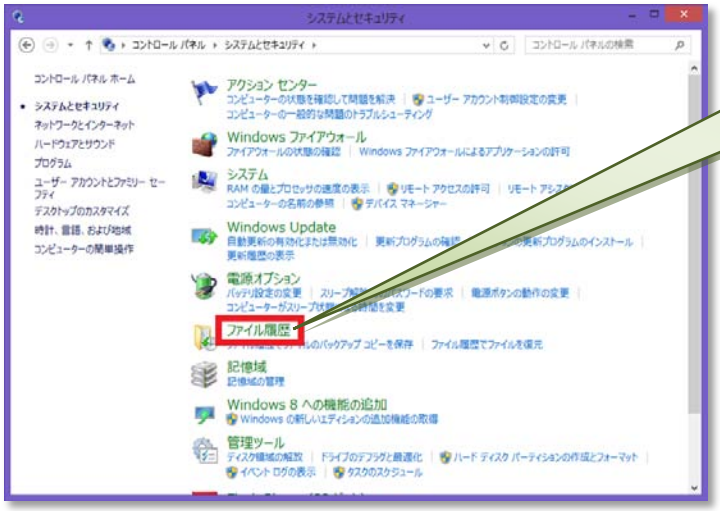
「コントロールパネル」を選択します。

⑤ 「システムとセキュリティ」の選択



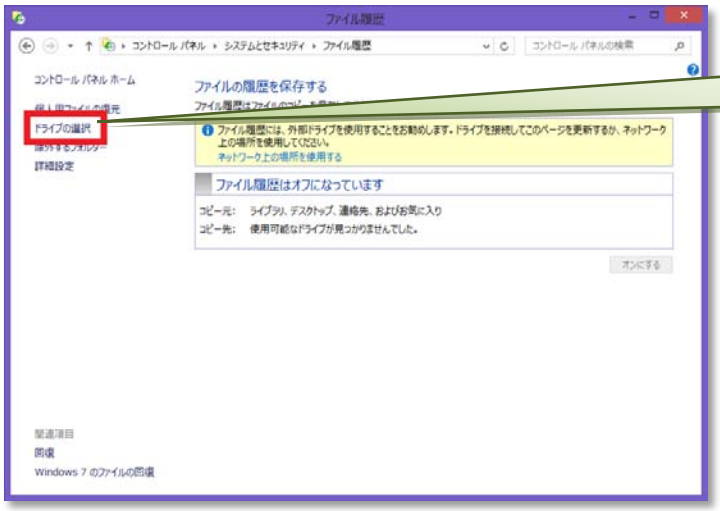
「システムとセキュリティ」を選択します。

⑥　「ファイル履歴」の選択



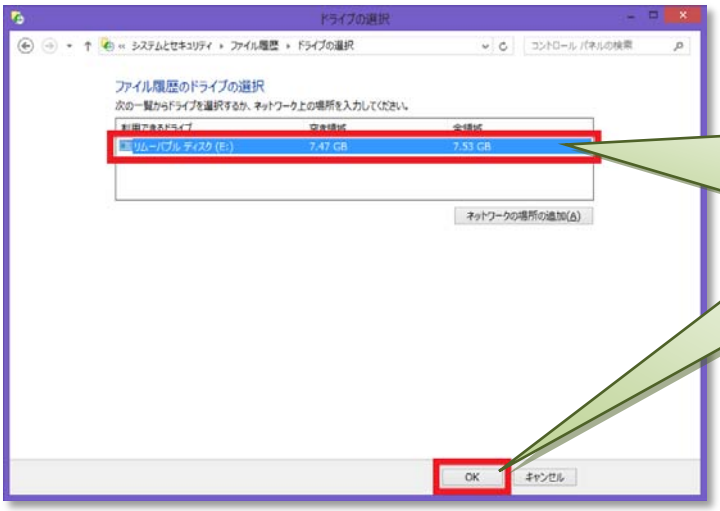
「ファイル履歴」を選択します。

⑦　バックアップファイルを書き出すドライブの選択（１）



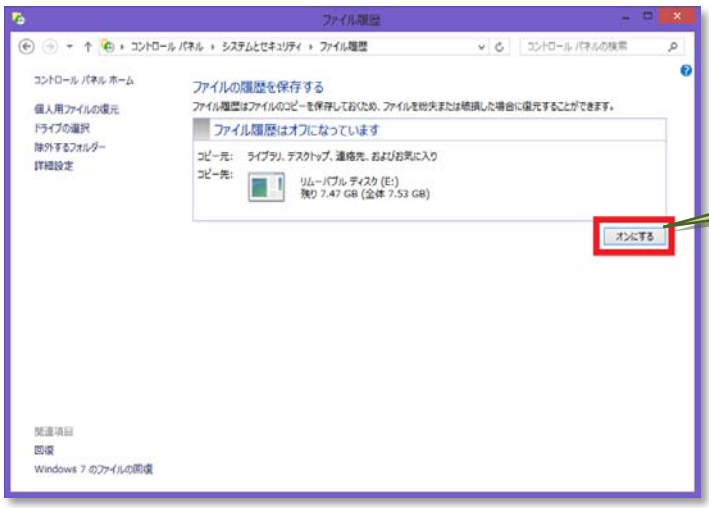
画面左側にある「ドライブの選択」を選択します。

⑧　バックアップファイルを書き出すドライブの選択（２）

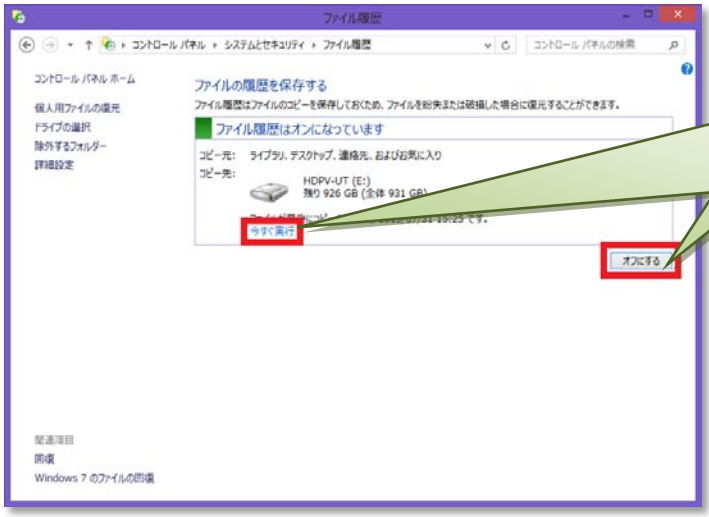


「リムーバブルディスク」を選択します。(E:)のローマ字はご使用の PC によって違う場合があります。「OK」ボタンを選択します。

⑨　バックアップファイルの書き込み開始

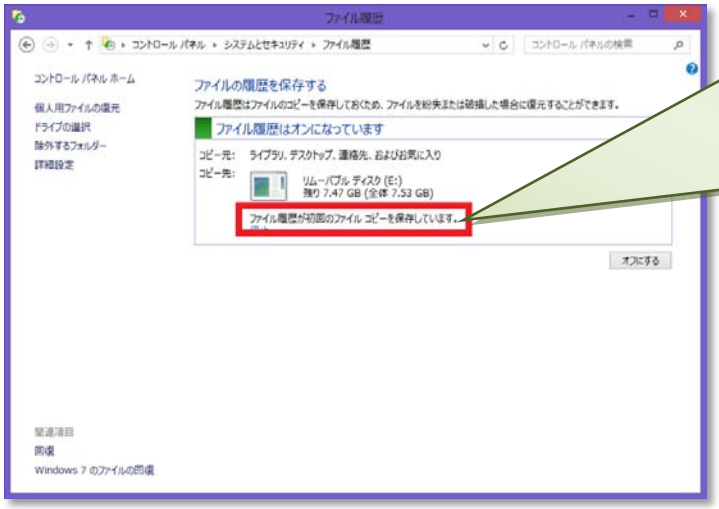


画面右側にある「オンにする」ボタンを選択します。接続したメディアにバックアップファイルの書き込みが開始されます。



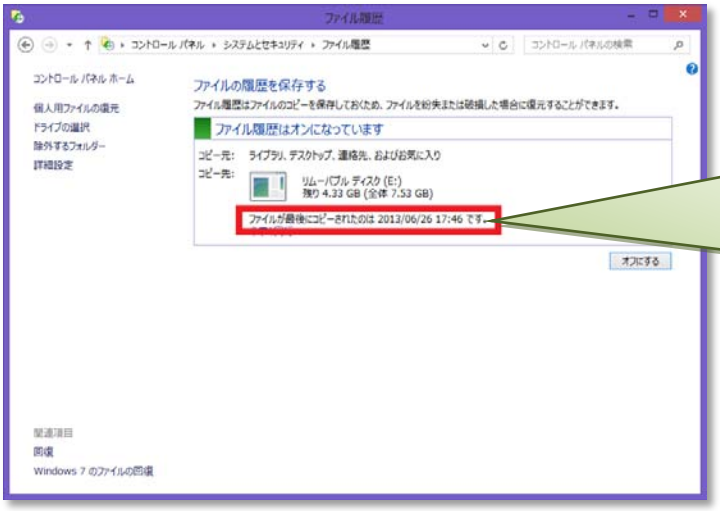
画面右側のボタンの表示が「オフにする」になっている場合は、画面中央にあるアイコンの下側にある「今すぐ実行」を選択します。接続したメディアにバックアップファイルの書き込みが開始されます。

⑩　バックアップファイルの書き込み中



バックアップファイルをメディアに書き込みしている間は、「ファイル履歴が初回のファイルコピーを保存しています。」または、「ファイル履歴にファイルのコピーを保存しています。」というメッセージが表示されます。この書き込み作業は非常に時間がかかる場合があります。終わるまで待ちます。

⑪　バックアップファイルの書き込み完了



メディアへ書き込みが終了すると、「ファイルが最後にコピーされたのは、（年/月/日時間）です。」という表示に変わります。以上で、ファイルのバックアップ作業は終了です。

【２】. バックアップしたファイルを復元する方法

① バックアップファイルを保存したメディアを PC に接続する

【 USB メモリー 】

【 外付け HDD 】

バックアップファイルを保存したメディアを、メディア付属の取扱説明書に従って PC 本体に接続します。

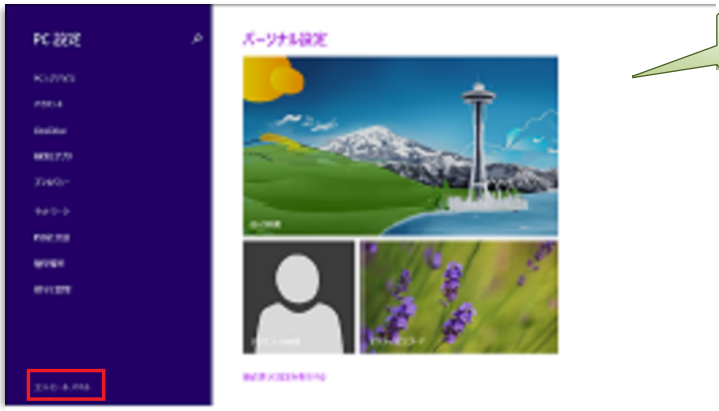
② チャームの「設定」の起動

画面の右上隅にマウスポインターを移動して、黒い縦の帯(チャーム)を表示させます。その中の マークの「設定」を選択します。

③ 「PC設定の変更」の起動

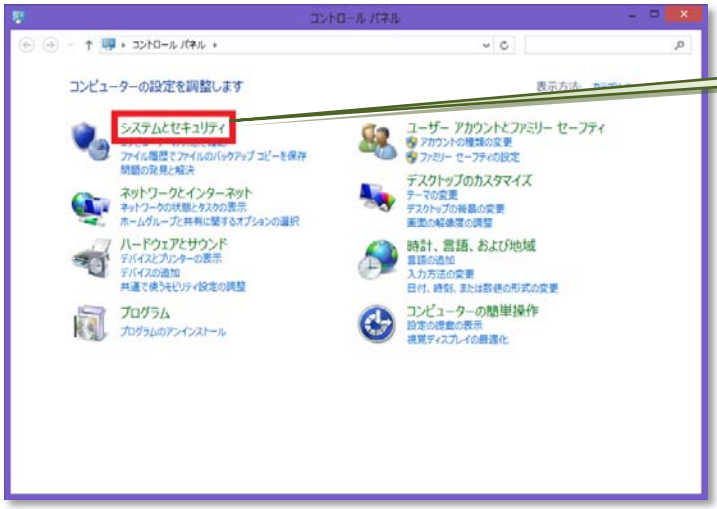
「PC設定の変更」を選択します。

④ 「コントロールパネル」の起動



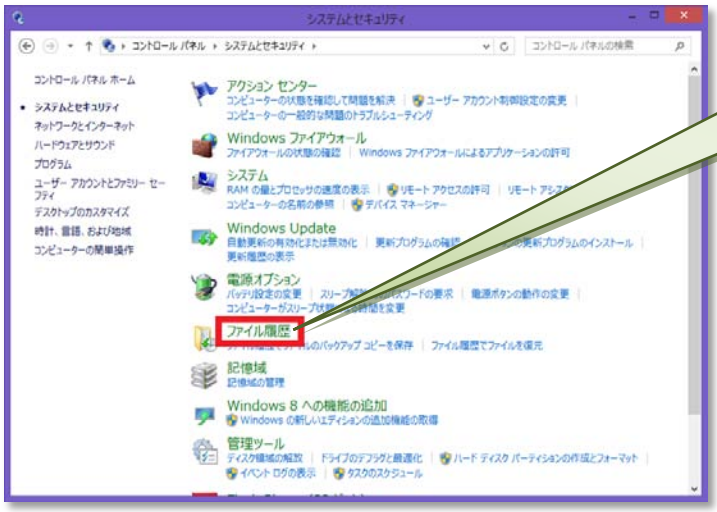
「コントロールパネル」を選択します。

⑤　「システムとセキュリティ」の選択



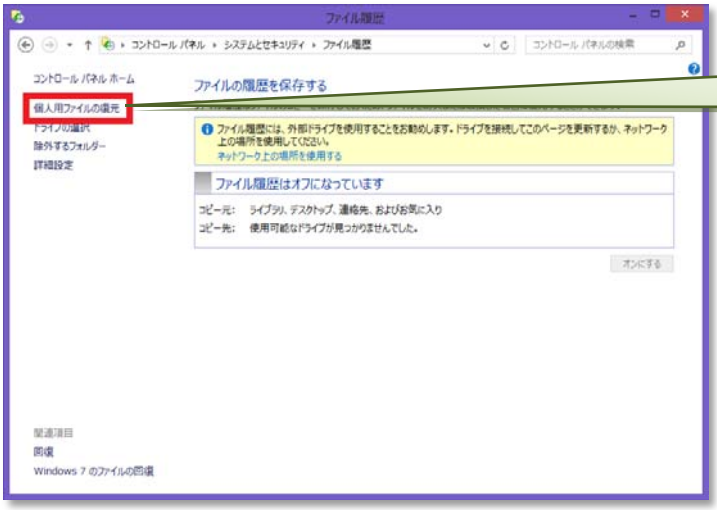
「システムとセキュリティ」を選択します。

⑥　「ファイル履歴」の選択



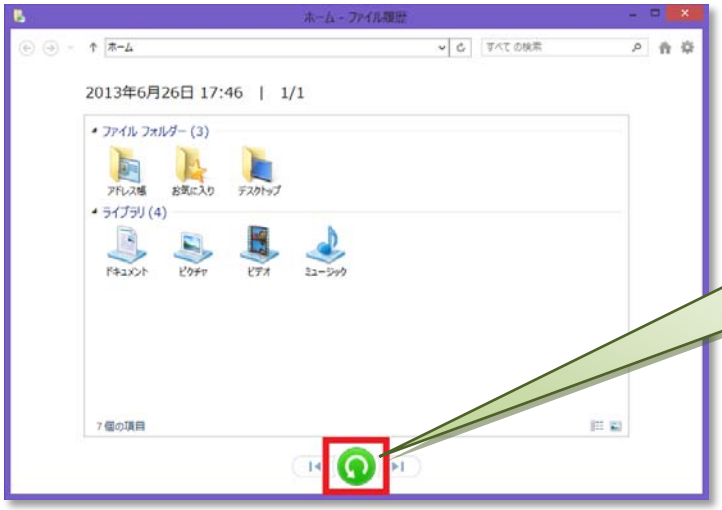
「ファイル履歴」を選択します。

⑦　「個人用ファイルの復元」の選択



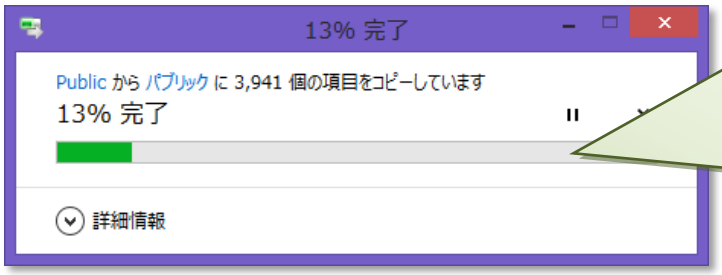
画面左側にある「個人用ファイルの復元」を選択します。

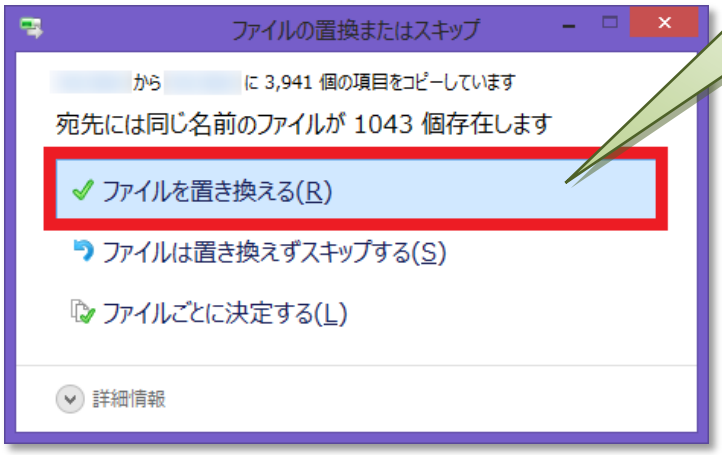
⑧　バックアップファイルの復元の開始



画面中央下側にある緑色の矢印ボタンを選択します。メディア内のバックアップファイルが PC に復元する作業が開始されます。

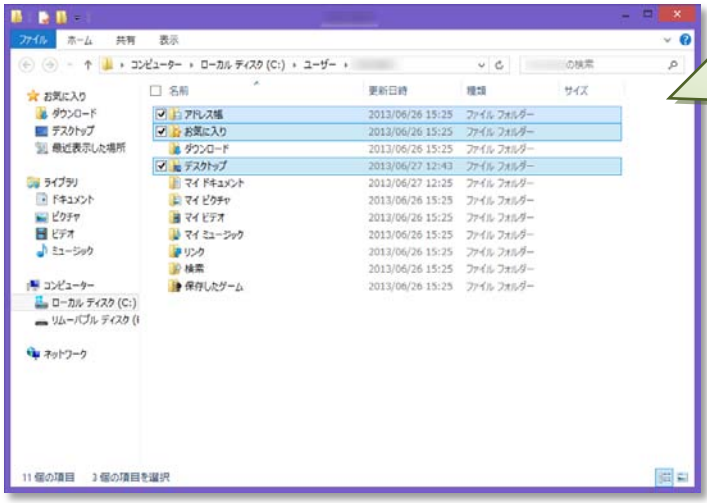
⑨　バックアップファイルの復元中





バックアップファイルの復元の進捗が表示されます。もし、PC 内のファイルと、バックアップファイル内のファイルとが同じ名前のものがある場合は、「ファイルの置換またはスキップ」の画面が表示されます。この場合は、「ファイルを置き換える」を選択します。

⑩　バックアップファイルの復元完了



バックアップファイルの PC への復元作業が完了すると、複数のフォルダーが選択された画面が表示されます。以上で、バックアップファイルの復元作業は終了です。